

区	本会		部会	
	全体会 協議会など	事務局会 運営会議など		
	開催回数	開催回数	部会名	開催回数
北	4	4	就労・生活支援（日中活動部門）	3
			就労・生活支援(就労部門)	6
			就労・生活支援(生活部門)	4
			基幹活動（相談支援連絡会）	7
			就労・生活支援(生活部門)	2
			イベント活動部会	6
			こども部会	5
都島	4	4	相談支援	12
			地域当事者	4
			事業所	6
			こども	12
福島	5	5	相談支援事業所	7
			グループホーム連絡会	1
			障がい児通所連絡会	2
此花	6	6	相談支援事業所	12
			居宅介護事業所	4
			こども	10
			相談員	3
			グループホーム	6
			日中事業所	6
中央	2	－	相談支援	2
			児童	1
			日中活動系	1
西	2	10	相談支援	12
			こども	4
			就労・日中活動	6
			グループホーム	6
港	5	3	相談支援	12
			児童系支援事業所連絡会	4
			ヘルパー事業所連絡会	2
大正	6	6	相談支援	6
天王寺	5	6	相談支援	6
			日中活動系	3
			子ども	12
			地域活動	3
浪速	1	－	相談支援	12
			こども	5
			生活支援	隔月
西淀川	－	24	相談支援事業所	14
			こども	11
			放デイ連絡会	6
			生活・就労	6
			居宅支援事業所	4
			グループホーム	6
淀川	－	12	相談支援	11
			身体障がい者	6
			知的障がい者	6
			居宅介護事業所支援	3
			就労支援	12
			子ども支援	12
			精神保健福祉	11
東淀川	2	11	居宅介護事業所	10
			相談支援	12
			精神保健福祉	12
			こども	11
			就労支援	10

区	本会		部会	
	全体会 協議会など	事務局会 運営会議など		
	開催回数	開催回数	部会名	開催回数
東成	3	2	相談支援	12
			事業所	3
生野	5	4	相談支援	12
			主任相談専門	12
			個別事例検討	1
			グループホーム	3
旭	6	6	こども	3
			相談支援	6
			高齢・障がい	6
			日中支援	6
城東	4	24	相談支援	12
			地域活動	4
			児童	11
			就労	12
			地域生活	12
			居宅介護	隔月
鶴見	3	－	グループホーム交流会	4
			相談支援	12
			事業所	10
			児童	9
阿倍野	2	10	相談支援	6
			日中系	6
			A K S（障がい児）	6
住之江	1	6	精神保健福祉ネットワーク	12
			就労支援	0
			相談支援	12
			子ども	6
			当事者	6
			いきがい	0
住吉	1	12	相談支援事業者連絡会	12
			相談支援	10
			日中活動支援	5
			グループホーム	6
			子ども	11
東住吉	3	12	精神保健福祉ネットワーク	3
			相談支援	32
			子ども	7
			日中活動系連絡会	6
			居住系事業所連絡会	1
平野	－	6	当事者	1
			相談事業	12
			日中	1
			研修	1
			居宅事業	4
西成	1	12	当事者	12
			相談支援	12
			日中活動系事業所	6
			就労系事業所	12
			こども	6
			地域活動	6
			精神保健福祉連携	12

令和 6 年度 各区地域自立支援協議会活動報告

北 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		本会	開催回数・頻度	4 回（3 か月に 1 回）	参加者数 ／ 1 回	18～21名
参画機関	障がい福祉関係	地域活動支援センター、障がい者支援事業所、障がい児支援事業所	障がい当事者等	障がい者当事者、当事者家族	高齢福祉関係	北区医師会在宅医療・介護連携相談支援室
	子育て・教育関係	特別支援学校、市立小学校	就労関係	大阪市障がい者就業・生活支援センター、ハローワーク梅田	保健・医療関係	精神科訪問看護ステーション、北区医師会在宅医療・介護連携相談支援室
	地域団体・住民関係	身体障がい者相談員	その他	北区保健福祉センター(健康課・福祉課)、北区障がい者基幹相談支援センター、北区社会福祉協議会		
検討課題・検討概要、取組内容		「思いやり・つながり・交流～みんなが安心できるまちづくり～」をテーマに、各部会で活動し、本会議で活動の承認・情報共有をした。				
今後の課題や取組の方向性		議論の活発化				

B 運営会議等

名称	運営委員会	開催回数・頻度	4 回（3 か月に 1 回）	参加者数／1 回	10～12 名
参加者	北区保健福祉センター（福祉課）、北区障がい者基幹相談支援センター、自立支援協議会委員、部会（委員会）代表幹事				
機能・役割、取組内容	本会の議案検討等 各部会の在り方、委員の選出について方向性の検討				

C 部会

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数 ／1回	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
就労・生活支援部会 （日中活動部門）		3回	北区内障がい者支援事業所、北区障がい者基幹相談支援センター	5～18名	顔の見える関係づくりを念頭に発言しやすい雰囲気づくりを心がけた。		今後は関係性をより密にしてイベントや販売会を盛り上げていきたい。		
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数 ／1回	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
就労・生活支援部会 （就労部門）		6回	北区内障がい者支援事業所、北区障がい者基幹相談支援センター	5名～14名	より具体的に種別ごとのイメージを掴む事が出来る体験・説明会にする。そのため、具体的に事業所での作業の雰囲気、訓練内容を知ってもらうため事業所動画を作成し説明が理解しやすいよう工夫した。		来年度も体験説明会を続けたい。		
	催事等	名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 就労系障がい福祉サービス体験・説明会		イベント		R6.8.23	北区内障がい者支援事業所	14	事業所ごとに特色あるサービスを提供しており、各事業所の取り組みを体験する機会を設けた。
		② 就労系障がい福祉サービス体験・説明会		イベント		R7.2.28	北区内障がい者支援事業所	10	事業所ごとに特色あるサービスを提供しており、各事業所の取り組みを体験する機会を設けた。
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数 ／1回	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
就労・生活支援部会 （生活部門）		4回	北区内障がい者支援事業所、北区地域活動支援センター、北区障がい者基幹相談支援センター	3～6名	参加事業数が多いときは、制度面及び従事者としてのあるべき姿の話を中心に、少ない時は事業所の困りごとや悩みを掘り下げた。		次年度以降、他部会との連携を図り、気軽に交流の機械を持ち、良い事例や困りごとを共有したい。		

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 ／1回	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
基幹活動部会 (相談支援連絡会)		7回	北区内障がい児支援事業所、障がい者支援事業所、北区障がい者基幹相談支援センター、北区保健福祉センター（福祉課）		3～10名	より多くの相談支援専門員が参加できる相談支援連絡会を目指す。		関心を持てるような議題の提供する。		
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 ／1回	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
基幹活動部会 (精神科訪問看護事業所連絡会)		2回	北区障がい者基幹相談支援センター、北区訪問看護ステーション		7～11名	多職種他機関との連携、相互理解に重点を置いた。各訪問看護ステーションが区内事業所及び多職種の特徴がわかるように実際に事業所職員との接点が持てるよう調整した。		新しい訪問看護ステーションが多く参加しているので、そうした訪問看護ステーションの方に関心の高いテーマを検討したい。		
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 ／1回	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
イベント活動部会		6回	北区内障がい児支援事業所、障がい者支援事業所、北区地域活動支援センター、北区障がい者基幹相談支援センター		5～6名	夏のイベントや区民まつりの出展などで作品が展示できることで、当事者のモチベーションが上がっており、今後も継続していきたい。		今後も継続して取り組みを行っていきたい。		
	催事等	名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 北区民カーニバル出展		イベント		R6.10.20	区民		未集計	イベントを通して、相談できる場所があることを知ってもらう機会の創出を行った
		② メッセージライブ		イベント		R.6.12/2～6	区民		未集計	みんなが笑顔になれる企画を考えた。事象所によるヘルマンハープの演奏を行ったり、作業所での作業を利用したクリスマスのマスコット作り等来庁者が足を止め参加していた。
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 ／1回	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
こども部会		5回	北区内障がい児支援事業所、北区障がい者基幹相談支援センター		3～5名	子どもの療育に沿った相互理解の輪をつくろう		講師の参加する部会は参加者が多い傾向にあり、勉強したい人が多いことから来年度はニーズに応じた部会運営を行いたい。		
	催事等	名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 事例検討会 （立場の違う支援者の交流と役割の相互理解）		研修会		R6.9.18	北区内障がい児支援事業所		39名	子どもの療育に沿った相互理解の輪をつくろう
		② 子どもを守るジシン本講座		研修会		R6.12.11	北区内障がい児支援事業所		24名	災害時の障がい児支援のついて

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
従事者研修会	研修会	R6.11.26	北区内障がい児支援事業所、障がい者支援事業所	約50名	支援者として、障がい者の自己決定支援と意思決定支援について研修を実施した。	受講効果を上げるために段階的・体系的な研修を実施していきたい。
障がい者のための防災講座	研修会	R6.6.4	北区内障がい児支援事業所、障がい者支援事業所	24名	シュミレーションゲームを広め、具体的な行動を促す。	BCP計画を作成することで、事業所利用者の命を守る行動、自覚を促したい。
きたまるしえ	イベント	R6.4.15～19 R6.7.8～12 R6.10.7～11 R6.12.2～6	区民	未集計	作業所で製造した商品を販売し、自身の作った商品が、目の前で売れることによるモチベーションアップや、参加事業所が増えたことによる他事業所との交流などがあり、活発な取り組みができた。	今後も継続して取り組みを行っていきたい。

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和 6 年度 各区地域自立支援協議会活動報告

都島 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		全体会	開催回数・頻度	4 回（3 カ月に 1 回）	参加者数／1 回	1 6 名程度
参画機関	障がい福祉関係	都島区障がい者基幹相談支援センター(あるる)/地域活動支援センター(こころの相談室リーフ)/障がい福祉事業所(とどまつ園、ワークセンターJIN、手琴堂、あじさい、ピースプラント)	障がい当事者等	身体障がい者相談員、知的障がい者相談員	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係		就労関係	大阪市北部障がい者就業・生活支援センター	保健・医療関係	区保健福祉センター(福祉担当・地域活動担当)
	地域団体・住民関係		その他	都島区社会福祉協議会		
検討課題・検討概要、取組内容		各部会での取り組みに重点を置き、全体会議では情報共有や意見交換を行った。 ・第 1 回2024/5 新年度委員紹介、個別避難計画作成進捗状況、地域生活支援拠点事業所の承認、各部会の取組状況、京橋地区バリアフリー基本構想、MAJT就労支援フェスタ ・第 2 回2024/8 個別避難計画作成進捗状況、区基幹センター運営評価、各部会の取組状況、京橋地区バリアフリー基本構想ワークショップ取組報告、個別事例の取り扱いに関して、市の施策として取り組むべき課題 ・第3回2024/11 個別避難計画作成進捗状況、各部会の取組状況、精神保健福祉後援会について、個別事例の取り扱いに関して ・第4回2025/2 個別避難計画作成進捗状況、各部会の取組状況、虐待防止連絡会報告、精神保健福祉後援会報告				
今後の課題や取組の方向性		引き続き各部会での取り組みに重点を置き、全体会議では情報共有、課題の検討を行う。				

B 運営会議等

名称	運営会議	開催回数・頻度	4 回（3 カ月に 1 回）	参加者数／1 回	5 名程度
参加者	委員長・各部会長(都島区障がい者基幹相談支援センターあるる、相談支援事業所あじさい、発達支援ルームピースプラント、就労継続支援B型事業所ワークセンターＪＩＮ)/都島区保健福祉センター保健福祉課				
機能・役割、取組内容	全体会議の前月に開催。各部会・委員からの報告の確認、協議会の運営について協議する。				

C 部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数／1 回	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
相談支援部会	定例会議	12回	区内相談支援事業所、身障・知的相談員、障がい者就業・生活支援センターなど	2 2 名程度	相談支援事業所間の情報交換や事例検討、研修会など		事業所間のネットワークのみならず、他部会、地域包括支援センター、社会福祉協議会、他団体、区役所担当課等と連携しブラッシュアップするため事例検討、研修、情報共有を行っていく。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 「研修：誰ひとり取り残さない社会を目指して」		研修会	9月26日	区内障がいサービス福祉事業所	6 2 名	講師：川中 正喜氏
		② 「研修：精神障害：病気を理解し生きづらさへかわる」		研修会	11月18日	区内障がいサービス福祉事業所	6 0 名	講師：大西 次郎氏
		③ 「研修：合理的配慮啓発事業～鈴音が行く」		研修会	3月27日	区民、障がい福祉事業所事業所など	7 0 名	合理的配慮の啓発全国キャラバン 講師：中曽根鈴音氏、尾上浩二氏

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 ／1回	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
地域当事者部会		4回	区内障がい福祉事務所、身障・知的相談員、障がい者団体、区社協など		12名程度	障がい理解の啓発、「個別避難計画」、福祉教育プログラム、交通まちづくりについてなど		障がい種別を超えての交流の場を設け、地域の課題・良い所などの意見交換を行い、住み慣れた地域で安心して誰もが自立した生活が送れるように当事者の声を尊重した取り組みを行い、地域の方々とのつながりを大切にする。	
		名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	なかまとつながる地域の輪		イベント		11月16日	区民	100名	まごころ演奏会、ポッチャ体験、パネル展示など

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 ／1回	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
事業所部会		6回	区内障がい福祉事業所		5名程度	区内障がいサービス事業所に向けた研修会や「社会資源フェスタ」の実施など		「若手も参加できる協議会」をコンセプトにイベントや研修を行う。	
		名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	① 「虐待研修～事業所の取り組みについての共有について」		研修会		8月21日	区内障がいサービス福祉事業所	16名	ファシリテーター：都島区地域自立支援協議会 部会長 箱田 成司氏	
	② 都島区障がい児・者 福祉資源フェスタ		イベント		2月15日	区内障がいサービス福祉事業所	74名	区内障がい福祉事業所が説明ブースを出し情報提供を行う。	
	③ 「備えよう！施設でできる災害対策」		研修会		3月11日	区内障がいサービス福祉事業所	42名	こども部会と共同開催 講師：大阪市防災担当	

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 ／1回	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
こども部会		12回	発達支援ルームピースプラントをはじめとする区内放課後デイサービス事業所など		30名程度	課題共有、情報共有、事例検討、情報交換会、研修会など		部会の中でもチーム分けをし、委員の声が届きやすい体制とする。また、多種多様化している課題の中でも、成功事例も含め事例検討を行う。	
		名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	「地域の小学校との情報交換会」		その他		8月6日	区内小学校関係者	17名	区内小学校より校長先生、コーディネーターが参加した情報交換会

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
都島精神保健福祉講演会	その他	12月5日	区民	38人	区内精神科クリニックの院長による講演「あなたの身近に潜む依存症～アルコール・ギャンブル・市販薬～」	毎年(公社)大阪精神科診療所協会と自立支援協議会と保健福祉センターとが主催し実施している。
都島区福祉サービスマップ更新	その他	その他	区民		区内障がい福祉サービス事業所の案内に活用、区HPにも掲載	隔年ごとに当該マップと日中通所事業所の特色など紹介する冊子を更新している。

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和 6 年度 各区地域自立支援協議会活動報告

福島 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		福島区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	5 回（ 約 2 か月 に 1 回）	参加者数／1回	22名
参画機関	障がい福祉関係	区障がい者基幹相談支援センター/地域生活支援センターふらっとめいじ/すずらんの園、デーセンターモモの家/ワークはづき/知的障がい者相談員・チャオネット/区ホームヘルパー連絡会/区保健福祉課（生活支援担当）（地域福祉担当）	障がい当事者等	区身体障害者団体協議会・身体障がい者相談員	高齢福祉関係	区社会福祉協議会
	子育て・教育関係	－	就労関係	西部地域障がい者就業・生活支援センター	保健・医療関係	区医師会在宅医療・介護連携相談支援室 区保健福祉課（保健活動担当）
	地域団体・住民関係	－	その他	－		
検討課題・検討概要、取組内容		・障がい者・高齢者への安全・安心のまちづくりの取り組み ・障がい者への理解を深めてもらう取り組み				
今後の課題や取組の方向性		活動方針並びに事業計画を示して実行し、協議会において、振り返りと今後の課題を抽出。				

B 運営会議等

名称	福島区地域自立支援協議会運営委員会	開催回数・頻度	5 回（ 約 2 か月 に 1 回）	参加者数／ 1 回	8名
参加者	区障がい者基幹相談支援センター、すずらんの園、区社会福祉協議会、区保健福祉課（地域福祉）				
機能・役割、取組内容	区地域自立支援協議会の運営と議事の進行を円滑に進めるための事前調整				

C 部会

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 ／ 1 回	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
相談支援事業所部会		7 回	区内及び近隣区の指定相談支援事業所 地域活動支援センター（生活支援型） 区障がい者基幹相談支援センター		10名	制度理解の促進 相談支援事業所間の連携		相談支援事業者及び相談支援専門員の不足 相談支援専門員の質の向上	
	催事等	名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		福島区障がい者基幹相談支援センター主催研修 （相談支援事業所部会共催）		研修会		2月19日	障がい児・者サービス事業者	35名	トラウマインフォームドケアについての研修 講師：浅野 恭子氏（甲南女子大学 人間科学部 准教授）

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数 ／1回	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
グループホーム連絡会		1回	区内のグループホーム運営法人 区障がい者基幹相談支援センター		グループホーム運営法人間の連携		情報共有・運営・利用者対応等について協議していく。	
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数 ／1回	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
障がい児通所連絡会		2回	区内の障がい児通所支援事業所 区障がい者基幹相談支援センター		障がい児通所支援事業所間の連携 療育相談会の開催		従事者の質の向上	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		療育相談会		相談会		随時	区内在住及び区内の学校園・事業所利用中の方	

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
高齢者・障がい児/者 なんでも相談会「ちえのわ ふくしま」	相談会	毎月第4金曜日（祝日除く）	区内在住・在勤の方		・協議会主催で区役所1階ロビーに相談ブースを設置し、区障がい者基幹相談支援センター、区社協、社会福祉士、行政書士が相談に対応	次年度も月1回定例的に高齢と障がいの複合的な相談にも対応できる体制での相談会を開催する。
福島区障がい児・者 スポーツ・レクリエーションひろば	イベント	R6.4.13 R6.11.8	障がいのある方とその家族・友人・介助者等	各約50名	・障がい者向けスポーツやレクリエーションを楽しみ、コミュニケーションを図る	次年度の継続して開催する。児の参加を募るため、開催時期を検討する。
「人権啓発推進協議会事業 夏休みヒューマンシアター」（啓発活動）	イベント	R6.8.24	ヒューマンシアター来場者	224名	・障がい者福祉事業所（6事業所）による展示販売会 ・パンフレット配布	次年度も区人権啓発推進協議会と連携を取って開催する。
区民まつりでの啓発活動	イベント	R6.10.5	区民まつり来場者	100名	・障がいへの理解促進に関する啓発ブース（障がいアート作品展、紙芝居、啓発物品の配布）	次年度も継続して出店する。
「福島区健康展」（ポッチャ体験会）	イベント	R6.10.19	健康展来場者	27名	・障がい者福祉事業所（6事業所）による展示販売会 ・ポッチャ体験会の開催	次年度も健康展と連携を取って実施する。
障がい者週間の取り組み	その他	R6.12.3～ R6.12.9	区内在住・在勤の方 区役所来庁者		・区役所横に幟の設置 ・区役所1階にブースを開設し、障がい児/者への理解を深めていただくために、作品展示や啓発活動を実施 ・区広報誌で特集ページを作成	次年度も継続して広報する。
障がい者虐待・身体拘束の防止のために ～基礎知識と具体的事例から学ぶ～	研修会	R7.1.16	区内障がい者施設・事業所等	28名	・協議会主催で、障がい者への理解を深めるためのグループワーク研修会を開催	次年度も継続して開催する。研修内容については協議会で検討する。
「人権啓発推進協議会事業 春のヒューマンシアター」（啓発活動）	イベント	R7.1.19	ヒューマンシアター来場者	197名	・障がい者福祉事業所(4事業所)による展示販売会	今後も区人権啓発推進協議会と連携を取って開催する。

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動報告

此花 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		此花区地域自立支援協議会全体会	開催回数・頻度	6 回 （奇数月の第2水曜日に開催）	参加者数 ／1回	29
参画機関	障がい福祉 関係	「ふるうむ此花」（生活介護）、「大阪市立此花作業指導所」（就労移行支援等）、「就労クリエイターHOPE」（就労継続支援A型）、「はばたく」（日中事業所部会代表）、「nico」（居宅介護事業所部会代表）、「おりーぶ庵」（グループホーム部会代表）、「デイ・サポート アイリー」（子ども部会代表）	障がい 当事者等	身体障がい者相談員 知的障がい者相談員	高齢福祉 関係	
	子育て・ 教育関係		就労関係	障がい者就業・生活支援センター「西部地域障害者就業・生活支援センター」「障害者共働学舎 働楽」（作業所連絡会代表）	保健・医療 関係	
	地域団体・ 住民関係	「此花区民生委員児童委員協議会」（障がい者委員会委員長）	その他	相談支援事業所「此花区障がい者基幹相談支援センター」、区社会福祉協議会「此花区社会福祉協議会」、障がい者スポーツセンター「大阪市舞洲障がい者スポーツセンター」、生活困窮関係機関「自立支援センター舞洲」「此花区自立相談窓口」、区保健福祉センター（課長、課長代理、担当者、精神保健福祉相談員等）		
検討課題・検討概要、 取組内容		・各部会の活動報告 ・地域との連携について ・区障がい者基幹相談支援センターの活動報告 ・障害者スポーツ進行の取り組み（風船バレー）について ・各委員からの報告、案内、情報提供、意見交換				
今後の課題や取組の 方向性		・障がいのある方とその家族が地域の中で安心して生活ができるよう、此花区内の資源の開発や支援体制・環境の整備について検討していく。 ・地域生活支援拠点等の機能を担う障がい福祉サービス事業所の登録について、此花区ではどのように進めていくのかを検討していく。 ・障がいの理解や支援を深める研修会の開催や「障害者差別解消法」「障害者虐待防止法」の周知啓発の実施。 ・各部会を超えて共通の課題やテーマに合わせて、イベントや研修会を企画、実施していく。				

B 運営会議等

名称	此花区地域自立支援協議会運営会議	開催回数・頻度	6 回（偶数月の第2水曜日開催）	参加者数／1 回	8
参加者	・此花区障がい者基幹相談支援センター ・居宅介護事業所部会代表「nico」 ・相談員部会代表（区身体障がい者連合会長代行） ・こども部会代表「デイ・サポート アイリー」・グループホーム部会代表「おりーぶ庵」 ・日中事業所部会代表「はばたく」・区社会福祉協議会 ・区保健福祉センター（担当者等）				
機能・役割、取組内容	・各部会内だけではなく、部会を超えて共通の課題をテーマに研修や勉強会、イベントなど開催できるように、企画・検討する。 ・全体会にて提案ができるように、各部会での情報を集約し、具体化していく。				

C 部会

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数／ 1回	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性			
相談支援事業所部会		12回（毎月第3木曜日開催）	・ 此花区障がい者基幹相談支援センター ・ 障がい者相談支援事業所（他区応援を含む） 此花区　「葵」「れもん」「YOU-ねっと」「こころ此花」「セレーノ」「未来のカタチ」「ソーシャルラボ」 港区　「みらい」「なみいち」「リスン」 西淀川区　「げんきな郷」「どんぐり」「Ponole'a」「よつば」「夢ごちち」[このとり]「ケアステーションキキ〜聴〜」「smile For You」「風の輪」 ・ 福島区「ボルスリー」「伽隠」 ・ 淀川区　「じゃむ」 ・ 大正区「ippo」 ・ 地域活動支援センター「ふらっとめいじ」 ・ その他障がい者相談支援事業所（随時） ・ 区保健福祉センター（担当者、精神相談員）		20	・ 各種意見交換 ・ 各事業所の状況報告 ・ 区及び区障がい者基幹相談支援センターからの情報提供 ・ 指定特定相談支援事業者の選定		・ 各事業所での困難事例・困りごとについての意見交換 ・ 相談支援の質向上に向けた勉強会等の開催 ・ 事例検討 ・ 此花区内の相談支援事業所が少なく、相談員も少ないため、新規相談支援事業所の立ち上げや新しい相談員の育成に力を入れる。また、1人相談支援事業所が多いため、部会内で困りごとやケース検討を取り入れ、後方支援していく。			
	催事等	名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）	

名称		開催回数	主な参画機関		参加者数 ／1回	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
居宅介護事業所部会	定例会議	4回 (3か月毎の第2火曜日開催)	・此花区障がい者基幹相談支援センター ・此花区内の居宅介護事業所（30事業所） 「晴れたよ、歩こう」「nico」「ライムケアセンター」「ガーデン天使ノア」「ばすてる」「港ケアステーション」「クラウン」「さくら」「クオレ千鳥橋」「ケア21」「まごころ」「葵」「成徳」「アクティブ」「なでしこ」「あんしんヘルプ千鳥橋・このはな」「ふるさと」「こころ」「暁明館訪問介護」「イーケア」「ニチイ」「おりーぶの木」「ささゆり」「ファミリーハウス」「はるねケア」「R」「恵」「メロディヘルプ」「KOSMO」 ・西淀川区内の居宅介護事業所（2事業所） 「こうのとりの」「ケアステーションキキ〜聴〜」 ・区保健福祉センター（担当者、精神相談員）		15	・実施指導についての説明等 ・区及び区障がい基幹相談支援センターからの情報提供 ・事業所見学		・各種勉強会 （障害特性について・障がい福祉制度について等） ・事例検討 ・各事業所の情報交換 ・他職種連携について(訪看、ケアマネ、GHや日中事業所など他職種職員との意見交換会を実施したい)	
	催事等	名称		種別		開催日	対象者		参加者数
事業所見学		その他		R6.9.10	居宅介護事業所		7	日中活動先でどのような支援が行われているかを知り、障がい特性やサービスについての理解を深める。 多職種との顔の見える関係づくりをする。	

名称		開催回数	主な参画機関		参加者数 ／1回	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
こども部会	定例会議	10回 (8月・12月を除く毎月第3水曜日開催)	・此花区障がい者基幹相談支援センター ・此花区内の障がい児通所施設事業所（17事業所） 「アイリー」「アロ此花」「うーるー伝法」「あをん千鳥橋」「スマイルこのはな」「スタディスマイル」「Ami」「はのはの」「あおぞら」「学童りずむ」「ひまわり西九条」「リタリコジュニア此花教室」「スタディスマイルきっず」「カンガルーのポッケ」「あずき」「nico」「ひまわり梅香」 ・区保健福祉センター（担当者）		15	・ケース事例の相談、議論、意見交換 ・各事業所の状況報告 ・区及び区障がい者基幹相談支援センターからの情報提供 ・各種研修・座談会・イベント 「小学校就学いろいろ座談会～先輩ママのお話聞いてみよう～」 虐待研修 わいわいひろば		・区内保育所、幼稚園、子ども子育てプラザとの連携 ・事例検討会 ・現場で活かせる職員が学びたい研修の継続 ・保護者からの相談対応の共有・事例検討の検討 ・就学前相談を提供し、保護者の不安や疑問を解消できる場を提供。中学校や高校への進学に不安を持つ保護者も多いことから、進学だけではなく、仕事やお金、生活の場など枠を超えて障がいをもったこどもの未来を考えるイベントを検討。 ・イベントのわいわいひろばについて今後も開催する。		
	催事等	名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 小学校就学いろいろ座談会 ～先輩ママのお話聞いてみよう～		相談会		R6.5.29	小学校就学選別に悩む区内の障がい児の保護者		9	座談会形式で、先輩ママさんの経験を聞き、小学校就学先選別に悩む保護者さんたちと情報共有することで今後の見通しを立てていく。
		② 虐待研修		研修会		R6.11.20	此花区内の障がい児通所施設事業所及び障がい児相談支援事業所のスタッフ		40	グループワーク形式で、チェックリストを用いて、各事業所ではどのように対応しているか等の話し合いや意見交換を行う。
③ わいわいひろば			イベント		R7.3.8	此花区内の障がい児通所施設事業所及び障がい児相談支援事業所のスタッフ、利用者とその家族		118	レクリエーションイベントとしてのミニ運動会	

名称		開催回数	主な参画機関		参加者数 ／1回	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
相談員部会	定例会議	3回 (4か月毎（6月・10月・2月）の第1金曜日開催)	・此花区障がい者基幹相談支援センター ・此花区身体障がい者相談員（4名） ・此花区知的障がい者相談員（1名） ・区保健福祉センター（担当者）		8	・区及び区障がい者基幹相談支援センターからの情報提供 ・施設見学会 ・区内啓発活動 ・学習会		・身体障がい者相談員と知的障がい者相談員の意見交換 ・相談員の活動についての周知 ・各相談員が防災に関する知識を深めるため、防災マップを使った勉強会の開催		
	催事等	名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① ・施設見学会（かんでんエルハート）		その他		R6.10.28	・此花区障がい者基幹相談支援センター ・此花区身体障がい者相談員 ・此花区知的障がい者相談員 ・区保健福祉センター（担当者）		6	特例子会社を見学することにより今後の相談員活動の参考にする
② 障がい者週間における街頭啓発活動			その他		R6.12.3	此花区民		13	障がい者週間に此花区身体障がい者連合会の協力もと、区民のみなさんに広く障がい者福祉についての関心と理解を深めていただくことを目的に商店街前にて啓発活動を実施	

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 ／1回	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
グループホーム部会		6回 (偶数月の第3水曜日開催)	・此花区障がい者基幹相談支援センター ・此花区内のグループホーム事業所（12事業所） 「ちどり」「おりーぶ庵」「どんぐり」「コアの森」「晴れたらいいなあ」「グループホーム n i c o」「エソラ此花」「hana」「なな」「生活はうす きづき」「vivid house」「ばいんの里」 ・区保健福祉センター（担当者）		17	・各グループホームへの見学及び意見交換 ・グループホーム部会として風船バレーへの参加 ・グループホーム部会として防災シミュレーションの実施 ・区及び区障がい基幹相談支援センターからの情報提供 ・各グループホームの空き状況の定期的な報告		・各グループホーム見学会を通して現状についての情報交換及び共通する課題について理解する ・今年度も防災シミュレーションを実施 ・意思決定支援の勉強会等の検討 ・風船バレー交流会の実施	
		名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	① 意思決定支援勉強会		研修会		R6.9.18	此花区内のグループホーム事業所	50	社会福祉法人ばぼんがぼん 事務局長 水野氏を講師に招き、基礎に立ち返って「障がい」とは何かを考える。 意思決定支援においては支援者の自己覚知が重要となる。	
② まちなか被災シミュレーション		その他		R6.10.20	此花区内のグループホーム事業所	18	NPO法人 日常生活支援ネットワークパーティー・パーティー 椎名氏を講師に招いた。西九条駅で被災したという想定で、15分でどのような避難行動がとれるか試みた。		

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 ／1回	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
日中事業所部会		6回 (奇数月の第3金曜日開催)	・此花区障がい者基幹相談支援センター ・此花区内の日中活動事業所（12事業所） 「コアの園」「コアの仲間たち」「（株）舞洲フェルム」「大阪市立此花作業指導所」「はばたく」「ぶるうむ此花」「働楽」「H O P E」「あめでもくもりでもはれたね」「チャコールワークス」「釣具製作向上委員会」「みんなのおしごと西九条」 ・区保健福祉センター（担当者）		14	・日中事業所部会の活動内容について ・情報交換等 ・此花区役所庁舎内における物販の実施 ・福祉スタッフ座談会について		・区内の日中事業所相互の情報共有と連携を図る。 ・参加事業所の形態が違う為、なかなか全員が集まりにくい。各共通のテーマにする、開催時間を夕方～夜間にするなどの工夫し、参加率を上げていく。 ・区役所で事業所の製品を販売するようになってきているので、今後も継続して販売できるように取り組む。	
		名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	① 区役所庁舎内での物品販売		イベント		R6.9.9 R6.12.6	区役所に来庁した区民及び区役所職員等	昇陽高校及び2事業所	昇陽高校作成のクッキーと事業所の授産製品の販売	
② 福祉スタッフ座談会		その他		R7.1.24	此花区内の日中活動事業所	21	グループ形式で、事業所スタッフ間の情報共有や意見交換、相互交流を目的として開催		

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
令和6年度障がい福祉サービス等報酬改定研修会（第1回）	研修会	R6.6.6	・相談支援事業所	80	障大連の執行役員の細井さんを講師に招き、障がい福祉サービス等報酬改定について理解を深める	西淀川区地域自立支援協議会と合同にて開催し、各事業所は障がい福祉サービス等報酬改定について理解を深め、今後の業務に活用できるようにする。
令和6年度障がい福祉サービス等報酬改定研修会（第2回）	研修会	R6.6.17	・グループホーム事業所 ・居宅介護事業所・日中事業所	80	障大連の執行役員の細井さんを講師に招き、障がい福祉サービス等報酬改定について理解を深める	西淀川区地域自立支援協議会と合同にて開催し、各事業所は障がい福祉サービス等報酬改定について理解を深め、今後の業務に活用できるようにする。
令和6年度障がい福祉サービス等報酬改定研修会（第3回）	研修会	R6.7.2	・障がい児通所施設事業所	50	此花区障がい者基幹相談支援センターのセンター長の沼守さんを講師に招き、障がい福祉サービス等報酬改定について理解を深める	西淀川区地域自立支援協議会と合同にて開催し、各事業所は障がい福祉サービス等報酬改定について理解を深め、今後の業務に活用できるようにする。
風船バレー	イベント	年24回 (毎月2回日曜日開催)	区内在住の障がい者と支援している方	50	障がい者スポーツの推進と障がいのある方の居場所づくり	障がい者スポーツを通じて、障がいや障がい者への理解を広め、地域とのつながりを模索するきっかけのひとつとする。また参加者の居場所づくりや目標・目的の創造、生活への意識向上等に寄与することを目的に障がいのある人もない人も共に楽しめるスポーツとして行う。

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和 6 年度 各区地域自立支援協議会活動報告

中央 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		中央区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	2回 (令和6年5月、令和7年3月に各1回、計2回)	参加者数 (1回あたり)	令和6年5月→16名、令和7年3月→18名
参画機関	障がい福祉関係	区障がい者基幹相談支援センター	障がい当事者等	大阪ろうあ会館、身体障がい者相談員	高齢福祉関係	区保健福祉課職員（高齢・障がい者虐待担当）
	子育て・教育関係	相談支援センター アリスファイン	就労関係	市障がい者就業・生活支援センター、特定非営利活動法人 ひこうせん	保健・医療関係	区保健福祉課職員（精神保健福祉相談員）
	地域団体・住民関係	区社協、地域生活支援センター すいすい	その他	知的障がい者相談員		
検討課題・検討概要、取組内容		・令和6年5月 → 相談支援センター運営評価、自立支援協議会の目的・役割の確認、当年度開催案の確認 ・令和7年3月 → 令和6年度活動振り返り、令和7年度開催案の報告				
今後の課題や取組の方向性		基幹相談支援センターがより主体的に活動できるよう、引き続き意識づくに努める。				

B 運営会議等

名称			に 1 回)	参加者数 (1 回あたり)	
参加者		開催なし			
機能・役割、取組内容					

C 部会

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数 (1 回あたり)	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援部会		2 回	区内相談支援事業所	18名	情報交換、事例検討、外部講師勉強会	事例検討について、事業所がより意見・相談しやすい環境となるよう努める。
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数 (1 回あたり)	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
児童部会		1 回	区内相談支援事業所	61名	利用者向け児発および放デイ事業所一覧表の更新について、情報交換	事例検討について、事業所がより意見・相談しやすい環境となるよう努める。
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数 (1 回あたり)	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
日中活動系部会		1 回	日中活動系事業所	21名	情報交換、グループワーク	事例検討について、事業所がより意見・相談しやすい環境となるよう努める。

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
全体研修会	研修会	R7.1.30	区内全障がい福祉サービス事業所、自立支援協議会委員	95名	防災研修（【災害時対応研修】「救急救命の基礎知識」）	事業所等が望んでいる研修を継続的に実施する。

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和 6 年度 各区地域自立支援協議会活動報告

西 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		西区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	2 回（6 月、2 月に開催）	参加者数（1 回あたり）	14名
参画機関	障がい福祉関係	西区障がい者基幹相談支援センター（2名）、障害者相談支援センター（1名）、グループホーム部会（1名）、地域活動支援センター（1名）	障がい当事者等	西区身体障害者団体協議会（1名） 西区障がい者・児ネットワーク 「そよかぜ」（1名）	高齢福祉関係	なし
	子育て・教育関係	こども部会（1名）	就労関係	就労・日中部会（1名） 地域障がい者就業・生活支援センター（1名）	保健・医療関係	なし
	地域団体・住民関係	西区社会福祉協議会（1名）	その他	区保健福祉センター（3名）		
検討課題・検討概要、取組内容		(第 1 回) ・委員紹介 ・西区地域自立支援協議会について ・令和 6 年度西区地域自立支援協議会活動計画（案）について ・西区障がい者基幹相談支援センターの運営評価について (第 2 回) ・西区地域自立支援協議会における個別事例の情報共有について ・令和 6 年度西区地域自立支援協議会活動報告について				
今後の課題や取組の方向性		引き続き、障がい者福祉に関する事項の中核的な協議の場として、 困難事例への対応についての協議調整に関することや地域の関係機関によるネットワーク構築に関すること、 地域の社会資源の活用及び改善の検討に関すること、 委託相談支援事業者の運営評価に関すること、地域福祉活動に関すること、 障がい者若しくは障がい児の自立と社会参加に関すること、 その他、地域の相談支援体制の充実に必要とされる事項の検討に関することに取り組んでいく。				

B 運営会議等

名称	西区地域自立支援協議会（事務局会議）	開催回数・頻度	10 回（西区地域自立支援協議会開催月を除く毎月1回開催）	参加者数 （1 回あたり）	6～8 名程度
参加者	西区障がい者基幹相談支援センター、障害者相談支援センター、グループホーム部会、地域活動支援センター、こども部会、就労・日中部会、地域障がい者就業・生活支援センター、区保健福祉センター等				
機能・役割、取組内容	地域の情報や課題の集約・分析、地域の実務課題について協議・検討				

C 部会

名称		開催回数	主な参画機関		参加者数 （1 回あたり）	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
相談支援部会	定例会議	12	西区内の委託及び指定相談支援事業所、西区保健福祉センター		15 名程度	西区内の指定相談事業の実施状況把握、相談支援におけるスキルアップ研修、情勢・制度に関する情報共有、事業所選定、他事業との連携に向けた取り組み		引き続き、地域における相談支援事業所の発展および質の向上を図るとともに、地域課題の抽出や課題解決のための協議の場として開催していく。	
	催事等	名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 勉強会「報酬改定について」		研修会		6 月 19 日	部会参加者	17	報酬改定にかかる勉強会
		② 相談支援業務についての意見交換		その他		12 月 23 日	部会参加者	10	相談支援業務についての意見交換

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
こども部会	定例会議		西区内の児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、医療型児童発達支援事業所、保育所等訪問支援、障がい児相談支援事業所、居宅訪問型児童発達支援事業所、西区障がい者基幹相談支援センター、西区保健福祉センター	30名程度	情勢・制度に関する情報の共有、サービス向上に資する研修会の実施、各事業所の取り組みおよび事例等の報告、西区内の社会資源有効利用および連携に向けた取り組み		引き続き、西区に住む障がいのある子ども及びその家族が、地域で安心して暮らすことが出来るよう、地域における児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所の発展および質の向上を図るとともに、地域課題の抽出や課題解決のための協議の場として開催していく。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① グループ討議「園や学校との連携について」		その他	9月18日	部会参加者	30	園や学校との連携にかかるグループ討議
		② 事例検討「問題行動をしてしまう児童への支援について」		事例検討	3月19日	部会参加者	20	問題行動をしてしまう児童への支援に関する事例検討
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
就労・日中活動部会	定例会議	6	西区内の就労移行支援事業所、就労継続A型支援事業所、就労継続B型支援事業所、生活介護、地域活動支援事業所、西区障がい者基幹相談支援センター、西区保健福祉センター	20名程度	情勢・制度に関する情報の共有、サービス向上に資する研修会の実施、各事業所の取り組みおよび事例等の報告、西区内の社会資源有効利用および連携に向けた取り組み		引き続き、西区の事業所で就労訓練、または介護や生産活動、レクリエーション等を提供される障がいのある方が、安心してサービスを利用することが出来るよう、地域における就労及び日中活動系の事業所の発展および質の向上を図るとともに、地域課題の抽出や課題解決のための協議の場として開催していく。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① ミニ研修「障害年金の知識」		研修会	7月19日	部会参加者	20	障害年金に関する研修
		② 消防実地訓練を受けての「救命救急のおさらい」（グループワーク）		その他	3月21日	部会参加者	16	消防実施訓練を受けての「救命救急のおさらい」にかかるグループワーク
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
グループホーム部会	定例会議	6	西区内の共同生活援助事業所、西区障がい者基幹相談支援センター、西区保健福祉センター	10名程度	情勢・制度に関する情報の共有、サービス向上に資する研修会の実施、各事業所の取り組みおよび事例等の報告、西区内の社会資源有効利用および連携に向けた取り組み		西区のグループホームで暮らす障がいのある方が、地域で安心して希望する暮らしが出来るよう、地域におけるグループホームの発展および質の向上を図るとともに、地域課題の抽出や課題解決のための協議の場として開催していく。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 勉強会「報酬改定について」		研修会	7月19日	部会参加者	12	報酬改定にかかる勉強会
		② グループワーク「各障がい福祉サービスの理解と連携」		その他	11月15日	部会参加者	9	各障がい福祉サービスの理会和連携にかかるグループワーク

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
運営会議（防災マニュアルワーキング）	その他	4月26日 ほか10回	相談支援事業所、基幹相談支援センターほか	7名程度	被災時を想定した事業者等対応等マニュアルの作成	事業者が図上訓練を行いやすくするための動画作成
運営会議（コミュニケーション支援ボード配布ワーキング）	その他	4月24日 ほか10回	地域活動支援センター、基幹相談支援センターほか	5名程度	聴覚障がい者や会話によるコミュニケーションが困難な障がい者等が、外出先での買い物や様々なサービスの利用、通院等でコミュニケーションを取るツールとしてのコミュニケーションボードの作成	作成したコミュニケーション支援ボードの設置依頼および改善

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和 6 年度 各区地域自立支援協議会活動報告

港 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		港区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	5 回（ 3 か月 に 1 回）	参加者数（1 回あたり）	最大 1 4 人
参画機関	障がい福祉関係	港区障がい者基幹相談支援センターふっききょう 港区障害者施設連絡会 地域生活支援センターふらっとめいじ	障がい当事者等	港区身体障がい者団体協議会 保護者等	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係	大阪発達総合療育センターあさしお園・ゆうなぎ園	就労関係	西部地域障がい者就業・生活支援センター	保健・医療関係	
	地域団体・住民関係	港区社会福祉協議会	その他			
検討課題・検討概要、取組内容		障がい者基幹相談支援センターの運営評価、障がい者支援専門部会の要望、各種研修会についてなど				
今後の課題や取組の方向性		地域で障がい者が安全・安心に暮していくための方策について検討する				

B 運営会議等

名称	港区地域自立支援協議会運営委員会	開催回数・頻度	3 回（ 4 か月に 1 回）	参加者数（1 回あたり）	最大6名
参加者	委員長、副委員長、運営委員 2 名、区担当者				
機能・役割、取組内容	協議会本会議の開催準備				

C 部会

名称		開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
相談支援部会	定例会議	12回	相談支援事業所		最大21名	相談支援事業所における意思決定支援について、虐待防止について、地域の抱える課題について、など		連絡会を通じて連携を深める、情報交換等、勉強会を開催しスキルアップをめざす	
	催事等	名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 生活困窮自立支援制度について		研修会		6月20日	相談支援部会参加者	21	困窮担当者
		② ここサポ伝達研修		研修会		3月21日	相談支援部会参加者	15	ゆうなぎ園

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
児童系支援事業所連絡会		4回	児童発達支援事業所 放課後デイサービス事業所		最大16名	大阪市発達障がい専門療育、食事支援、児童系施設のマッピングについてなど		連絡会を通じて連携を深める、情報交換等、勉強会を開催しスキルアップをめざす		
		催事等	名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
			① 大阪市発達障がい専門療育（あさしお園）について		研修会		7月30日	児童系支援事業所連絡会参加者	16	
		②								
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
ヘルパー事業所連絡会		2回	ヘルパー事業所		最大7人	ヘルパー事業所と計画相談支援事業所について		連絡会を通じて連携を深める、情報交換等、勉強会を開催しスキルアップをめざす		
		催事等	名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
			①							
		②								

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
障がい者・児童に対する虐待防止と権利擁護	研修会	7月24日	区内事業所	24	区役所虐待担当者による研修会	虐待事案に対し適切な対応を行う
知ろう。話そう。港区の防災	研修会	3月18日	区内事業所	18	区役所防災担当者による研修会	適切な防災対応を行う
個別ケース検討会議	その他	12月20日	支援者	10	つながる場と共催	適切な支援を行う

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和 6 年度 各区地域自立支援協議会活動報告

大正 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		大正区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	年6回（2ヶ月に1回）	参加者数（1回あたり）	10名前後
参画機関	障がい福祉関係	支援センターねぎぼうず、大正わかば家族会、障がい者支援施設ふくろうの杜、障がい者支援施設北村園、地域活動支援センターふれあいの里、大正共同作業所、グループホームことのは	障がい当事者等	大正区身体障害者団体協議会	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係		就労関係	大阪市西部地域障がい者就業・生活支援センター	保健・医療関係	
	地域団体・住民関係		その他	社会福祉法人大正区社会福祉協議会		
検討課題・検討概要、取組内容		基幹相談支援センターの運営評価、防災の取組みについて、事業所との意見交換会、研修会、事例検討等				
今後の課題や取組の方向性		区内の障がい福祉関連の事業所を招いての意見交換会や、他区の自立支援協議会と共催で研修会を行う事により、区内障がい者支援関係事業所の知識等含むスキルレベルのアップや事業所間の繋がりを今以上に深めていく。				

B 運営会議等

名称	大正区地域自立支援協議会 運営会議	開催回数・頻度	年6回（2ヶ月に1回）	参加者数（1回あたり）	10名前後
参加者	議長、メンバー、事務局				
機能・役割、取組内容	区地域自立支援協議会での実施内容を検討し、提案していく議論の場				

C 部会

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援部会		年6回	区内を中心とした相談支援事業所	15名前後	報酬改定、国の動向等情報共有や意見交換等	1年を通して出席が無い事業所が複数あるため、関係性を深める事が難しい

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
なんでも相談会	相談会	偶数月第3月曜	区内の障がい者とその家族	0	午後1時～3時まで内容を限定せず区役所の会議室で開催	利用者増に向けた手法の検討

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和 6 年度 各区地域自立支援協議会活動報告

天王寺 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		天王寺区地域自立支援協議会本会	開催回数・頻度	5 回（ 2 カ月に 1 回）R7年1月開催なし	参加者数（1 回あたり）	約 2 0 名
参画機関	障がい福祉関係	天王寺区障がい者機関相談支援センター・ムーブメント/相談支援事業所Peace Heart/就労継続支援B型むつみ工房/高津学園障がい者支援施設 知恩寮/ネクストステージ エイブル/はびねすと/大阪赤十字病院附属大手前整肢学園/児童デイサービス アップル/相談支援事業所クローバーホーム/相談支援事業所たにまち/相談支援事業所うえろくケアプランセンター/ワークセンター中授/大阪市障がい者就業・生活支援センター/障害者支援施設アテナ平和	障がい当事者等	天王寺区身体障がい者相談員 天王寺区身体障害者団体協議会 天王寺区知的障がい者相談員	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係		就労関係		保健・医療関係	
	地域団体・住民関係	天王寺区社会福祉協議会	その他			
検討課題・検討概要、取組内容		・ 困難事例への対応についての協議調整 ・ 地域の関係機関によるネットワーク構築 ・ 地域の社会資源の活用及び改善の検討				
今後の課題や取組の方向性		協議会と運営委員会の役割を明確にし、より円滑な運営を行う。				

B 運営会議等

名称	天王寺区地域自立支援協議会運営委員会	開催回数・頻度	6 回（2 カ月に 1 回）	参加者数（1 回あたり）	約15名
参加者	天王寺区障がい者基幹相談支援センター、むつみ工房、ネクストステージエイブル、はびねすと、天王寺区社会福祉協議会、大阪市障がい者就業・生活支援センター、アテナ平和、				
機能・役割、取組内容	・ 活動計画の策定、協議会の運営。 ・ 部会活動や各取り組みについての調整や集約等。				

C 部会

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1 回あたり）	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
相談支援部会		6 回	天王寺区基幹相談支援センター 区内の計画相談支援事業所	約15名	相談支援体制の強化と事例検討、制度及びその他情報の共有化		区内の地域課題の抽出	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		①						
		②						

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
日中活動部会	定例会議	3回	区内日中活動系事業所	約30名	区内のニーズ把握と事業所間のネットワーク構築			
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 就労支援・生活介護等 障がい者支援施設合同説明会		イベント	8月3日	指定なし		区内を中心に、「障がい福祉サービス」に取り組んでいる施設による合同説明会
		②						
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
子ども部会	定例会議	12回	区内障がい児相談支援事業所 区内放課後等デイサービス 区内児童発達支援事業所	約20名	各事業所からの疑問等をもとに勉強会を開催		研修会や交流会等を通じて事業所間のつながりや連携を強める。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		①						
		②						
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
地域活動部会	定例会議	3回	天王寺区基幹相談支援センター 天王寺区身体障がい者団体協議会等	約10名	ポッチャ体験会等の開催について		継続した体験会等の開催や地域大会の支援	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① ポッチャ体験会＆審判員養成講座		イベント	8月26日	指定なし	約50名	ポッチャ、審判体験
		② ポッチャ&レクリエーション (天王寺区はーとふるフェスタ内プログラム)		イベント	11月23日	指定なし	約50名	ポッチャ大会

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和 6 年度 各区地域自立支援協議会活動報告

浪速 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		浪速区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	1 回	参加者数 （1 回あたり）	13
参画機関	障がい福祉 関係	浪速区障がい者基幹相談支援センター/デイケアセンター夢の希/レオ介護サービス/なにわ工房・ピース/浪速区身体障害者福祉協議会/就労創造センターせふいろと/地域生活支援センターサワサワ/ホッとサロン「レインボー」児童発達支援/放課後等デイサービス連絡協議会（パディ）/ディーキャリア大阪なんばオフィス	障がい 当事者等		高齢福祉 関係	
	子育て・ 教育関係	大阪府立難波支援学校	就労関係	中部地域障害者就業・生活支援ンセンター	保健・医療 関係	
	地域団体・ 住民関係		その他	クボタワークス株式会社		
検討課題・検討概要、 取組内容		自立支援協議会のあり方や今後の方針について				
今後の課題や取組の 方向性		運営会議の開催について検討していく				

B 運営会議等

名称		開催回数・頻度	回 (に 1 回)	参加者数 (1 回あたり)	
参加者					
機能・役割、取組内容					

C 部会

名称		開催回数	主な参画機関		参加者数 (1 回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
相談支援部会	定例会議	月 1 回	計画相談支援事業所		20	相談支援員の情報交換や勉強会、個別事案の検討		困難ケースの対応についてSV等を招いての勉強会の開催を検討していく	
	催事等	名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 介護サービス・障がいサービス交流会		研修会		3月21日	ケアマネジャー、相談支援員	約30	グループワークを実施し、高齢福祉分野と障がい福祉分野それぞれの理解を深める。
		②							

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
こども部会	定例会議	5回/年	計画相談支援事業所・児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所	20	事業所紹介、意見交換、勉強会		開催回数を増やし、勉強会の開催を検討していく。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		①						
		②						
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
生活支援部会	定例会議	隔月開催	計画相談支援事業所、居住支援事業所	10	生活困窮や制度の狭間の問題、個別ケースの課題の掘り起こし		既存の制度では解決や対応が難しいケースについての情報共有の仕組みづくり等を検討していく。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 制度の狭間や困難ケースの対応について		研修会	11月26日	計画相談支援事業所	10	西成区障がい者基幹相談支援センターのSVに講演いただいた。
		②						

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
ナニワ区民まつり	イベント	R6.10.20	浪速区民		障がい者基幹相談支援センターのブースを設け、広報活動を実施。	次年度も継続して活動を実施する。
障がい者スポーツの取り組み	イベント	R6.11.2	浪速区民		社会福祉協議会主催の「なにわ福祉ふれあい広場」において、体験コーナー（モルック）を設置。	次年度も継続して活動を実施する。
東住吉支援学校通所事業所説明会	相談会	R6.7.19	支援学校在籍の生徒、保護者		浪速区の通所事業所ブースにて相談を実施。	東住吉支援学校のため、浪速区のブースの需要が少なかったため、次年度要検討。
人権問題研修	研修会	R6.5.24	障がい福祉サービス従事者		「浪速地区の歴史から学ぶ」同和問題をテーマに人権研修を実施。	次年度も継続して活動を実施する。

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和 6 年度 各区地域自立支援協議会活動報告

西淀川 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		運営委員会	開催回数・頻度	6 回 (2 か月に 1 回)	参加者数 (1 回あたり)	1 5 名
参画機関	障がい福祉関係	西淀川区障がい者基幹相談支援センター・げんきな郷・石井ホームヘルプ・いきいき・西淀川発達支援センターたんぼぼ・姫島こども園・こうのとりのゆな・フリーライフ・ポルテみてじま・保護者代表	障がい当事者等		高齢福祉関係	
	子育て・教育関係		就労関係		保健・医療関係	
	地域団体・住民関係		その他	西淀川区社会福祉協議会		
検討課題・検討概要、取組内容		令和6年度は、報酬改定や、意思決定・表明支援の重要性について学ぶため、講師を招いての協議会全体研修を開催した。また各部会においても関連した事例検討や勉強会を積極的に実施し、本人中心支援の実践を拡げること、区内の障がい児・者の地域生活における課題の抽出・整理に役立った。災害対策についても各部会において協力体制を整えていくとともに、年1回定期的に開催している区長との懇談会において、区対策本部と基幹相談支援センターとの情報共有を提案した。また、コロナ禍で中止していたイベントを「にしよどみんなであふれあう広場」に名称を改め、区社会福祉協議会と共催で企画。区内事業所の自主製品の販売、利用者やボランティア団体等による舞台発表など、地域の方々と一緒に楽しめるイベントを開催すべく、準備を進めた。				
今後の課題や取組の方向性		引き続き、意思決定・表明支援や利用者本人中心の支援体制を構築すべく、協議会全体や各部会において研修や事例検討を積極的に実施する。また、本年度から法定化されたグループホームの地域連携推進会議の実施や災害時を想定した要援護者個別避難計画作成協力等、地域との連携が今後ますます必須になってくると考えられるため、地域の皆さま方に障がい児・者やその家族に対する理解を深めていただけるよう、行政と協力しながら日頃から連携できる体制の構築を目指して行きたい。				

B 運営会議等

名称	生活・就労部会実行委員会	開催回数・頻度	6 回（2 か月に 1 回）	参加者数（1 回あたり）	6 名
参加者	生活就労部会部会長・生活就労部会副部会長・西淀川区障がい者基幹相談支援センター				
機能・役割、取組内容	年間計画の素案の作成、次回部会の準備、打合せ				
名称	居宅介護事業所部会実行委員会	開催回数・頻度	4 回（3 か月に 1 回）	参加者数（1 回あたり）	6 名
参加者	居宅介護事業所部会部会長・居宅介護事業所部会副部会長・西淀川区障がい者基幹相談支援センター				
機能・役割、取組内容	年間計画の素案の作成、次回部会の準備、打合せ				
名称	こども部会実行委員会	開催回数・頻度	2 回（6 か月に 1 回）	参加者数（1 回あたり）	1 0 名
参加者	こども部会部会長・こども部会副部会長・西淀川区障がい者基幹相談支援センター・支援学校・区役所・放デイ連絡会				
機能・役割、取組内容	年間計画の素案の作成、次回部会の準備、打合せ				

名称	グループホーム部会実行委員会	開催回数・頻度	6 回（2 か月に1 回）	参加者数（1 回あたり）	6 名
参加者	グループホーム部会部会長・グループホーム部会副部会長・西淀川区障がい者基幹相談支援センター				
機能・役割、取組内容	年間計画の素案の作成、次回部会の準備、打合せ				

C 部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
相談支援事業所部会	定例会議	月2回（年14回）	区基幹相談支援センター 区内の各相談支援事業所	30名	・選定会議 ・研修会 ・事例検討 ・座談会 ・報酬改定勉強会		引き続き、定期的に防災研修や訓練、事例検討、計画相談支援についての勉強会等を実施し、質の高い相談支援、本人中心の相談支援とは？について考えていく。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① ケアマネとの合同研修会①		研修会	7月24日	区内の相談員とケアマネジャー	60名	グループワークにて、高齢者と障がい者が同居する家族を支えるために、事例を通して私たちができることを考えた
		② ケアマネとの合同研修会②		研修会	1月24日	区内の相談員とケアマネジャー	6 0 名	介護、障がいの併用ケースを用いてケアプラン、週間計画を作成して意見交換をおこなった。
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
こども部会	定例会議	8月以外月1回（年11回）	区基幹相談支援センター 区内の保育施設・小学校・中学校 支援学校 区内の児発・放デイ事業所	20名	・研修会 ・事例検討 ・支援学校での取り組み ・卒業生の進路		障がいを持つ子どもと家族支援においてのネットワーク形成の進め方、具体的な取組の構築。福祉・教育・保育・行政等多職種の方がこどもに関わっているので、具体的な連携のあり方を検討していく。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 発達の「多様性」について考える		研修会	9月20日	こども部会・放デイ連絡会のメンバー	25名	大阪大学大学院の萩原先生にお越しいただき、発達心理学をベースにこどもなりの理屈を見つけることの重要性について聞く
		② 障がいのあるこどもを育てて、今思うこと		研修会	3月21日	こども部会・放デイ連絡会のメンバー	17名	現在39才の重度知的障がいを持つ息子さんを育ててこられた母親に来ていただき、成長過程と親なき後の思いについて聞く
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
放デイ連絡会	定例会議	2か月に1回（年6回）	区基幹相談支援センター 区内の児発・放デイ事業所	15名	・事業所見学会 ・事例検討 ・研修会 ・座談会		顔の見える関係の構築、事業所の療育の質の向上を目指す。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① ラグビーであそぼう		イベント	7月22日	区内の児発、放デイに通所する児童	60名	レッドハリケーンズ大阪の選手にお越しいただきラグビーボールを使ったレクリエーションを行った
		② 区役所ロビーで作品展示		その他	10月23日～ 10月29日			区内の児発、放デイに通所する児童の作品を展示

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
生活・就労部会	定例会議	2か月に1回（年6回）	区基幹相談支援センター 区内の日中活動系事業所 支援学校	30名	・事例検討 ・研修会		各事業所単位だけではなく、西淀川区の各事業所間の連携を図りながら、困難事例の利用者にも生活・就労部会全体で対応できるようなシステムの構築を検討していきたい。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① くらしやおしごと相談フェア		イベント	6月25日	障がい児・者とその家族	70名	西淀川区内の障がい児・者を支援する施設が一同に集まり、どのような活動を行っているか紹介する相談会
		② にしよどマーケット		その他	毎週金曜午前	地域の皆さま		区役所1階にて区内11カ所の事業所が毎週交代で授産品を出店
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
居宅介護事業所部会	定例会議	3か月に1回（年4回）		25名	・研修会 ・ペットについて ・求人について		事業所間の“横のつながり”を降り強固にする体制構築、支援者間での顔を見える関係性を築き、地域で支援が必要な方が、必要な時に支援を受けられる体制を区内全体で構築していく。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
グループホーム部会	定例会議	2か月に1回（年6回）	区基幹相談支援センター 区内のグループホーム事業所	20名	・意見交換会 ・事例検討 ・報酬改定勉強会		各グループホームが地域の方々と繋がりを持ち、連携していける体制づくり。質の良いグループホーム作り。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
令和6年度報酬改定についての研修	研修会	6/6 6/17	区内の障がい福祉サービス事業所	70名	令和6年度の報酬改定について、障大連の細井氏を招き、研修を実施した。	報酬改定については、各事業所で勉強会や研修の希望が多いため、年度始めに確認会等を実施。3年に1回、大きな改定がある時には、自立支援協議会のメンバーの希望や必要に応じて、講師を招き、研修会の実施を検討する。
意思決定・表明支援についての研修	研修会	3月4日	区内の障がい福祉サービス事業所		北野誠先生を招き、意思決定・表明支援についての研修を実施した。	今年度は基本的な本人の意思決定や表明支援についての研修を実施。来年度は、意思決定や表明支援を行わないと虐待に繋がるとの視点を持ち、研修を実施する予定。

E 備考

・6月17日 区長との懇談会 協議会の活動内容と要望に関し、意見交換予定 ・法定会議と共催する「つながる場」の活用
--

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和 6 年度 各区地域自立支援協議会活動報告

淀川 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		開催回数・頻度	回（に 1 回）	参加者数（1 回あたり）	
参画機関	障がい福祉関係	障がい当事者等		高齢福祉関係	
	子育て・教育関係	就労関係		保健・医療関係	
	地域団体・住民関係	その他			
検討課題・検討概要、取組内容					
今後の課題や取組の方向性					

B 運営会議等

名称	運営委員会	開催回数・頻度	12 回（月に 1 回）	参加者数（1 回あたり）	12名
参加者	委員長、副委員長、各部会長、社会福祉協議会、オブザーバー、保健福祉課				
機能・役割、取組内容	各部会からの活動状況の確認、事例発表・意思決定研修・虐待防止研修・カスハラ研修等に向けての企画、防災チェックシートの更新と周知、能登半島地震ボランティア報告、制度の説明と周知、新規部会参加事業所の確認				

C 部会

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
相談支援部会		11回	指定特定相談支援事業所等		20名	制度等の説明、新規事業所等の情報共有、困りごと等の意見交換		区の課題抽出、行政を含め多機関との連携のあり方、防災意識を高め地域との連携		
	催事等	名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 精神保健福祉法の法改正について		研修会		5月16日	指定特定相談支援事業所等		22	区役所職員による精神保健福祉法改正の周知
		② あんしんサポートについて		研修会		7月11日	指定特定相談支援事業所等		23	見守り相談室によるあんさぼ制度説明
		③ 障がい年金について		研修会		9月19日	指定特定相談支援事業所等		24	社会保険労務士による障がい年金制度の説明
		④ 介護保険について		研修会		10月17日	指定特定相談支援事業所等		14	介護支援専門員、相談支援専門員による介護保険制度についての説明
		⑤ こどもの制度について		研修会		12月12日	指定特定相談支援事業所等		16	区役所職員によるエンゼルサポーター派遣事業、ファミリーサポートセンター事業、家事・育児支援事業、産後ケア事業の説明
		⑥ 社会福祉協議会について		研修会		1月9日	指定特定相談支援事業所等		19	社会福祉協議会職員による、事業の説明
		⑦ 災害に備えて、大阪市における個別避難計画につ		研修会		2月13日	指定特定相談支援事業所等		26	区役所職員による個別避難計画について、大阪市・淀川区の取り組み、災害への備え等の説明

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
身体障がい者部会	定例会議	6	区障がい者基幹相談支援センター、相談支援事業所、生活介護事業所、障がい者施設入所支援、就労継続支援B型、地域障がい者就業・生活支援センター、地域活動支援センター、在宅介護医療連携相談、身体障がい当事者	10	令和6年度報酬改定による事業所への影響確認、区内における障がい者差別に関する事例抽出、障がい当事者の話を聴く取り組み、横の連携を深めるための事業所見学会等		身体障がいのある当事者から地域生活についての話を聴く取り組み、事業所見学会、身体障がいに対応している住宅物件情報の整理、区内のバリアフリー環境整備情報の共有など。	
		名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	①						
		②						
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
知的障がい者部会	定例会議	6	障がい福祉サービス事業所（生活介護、就B、GH、入所）、相談支援機関、在宅医療連携推進室、更生保護施設、知的相談員	17	みんなの困りごとを知る（人材育成） 交流会をひらく（人材育成） 地域防災を知る 3つの目標から一年間のテーマを決め、部会を開催してきた。計8回		地域で福祉団体が連携し、区の福祉環境向上のためにも、現在自立支援協議会に参加されていない事業所に声掛けし、部会参加者を増やすことを目指したい。また、令和7年度から始まる地域連携推進会議についての情報共有のためにも、グループホームの事業所にも積極的に参加していただけるように取り組んでいきたい。地域防災についても引き続き理解を深めて行きたい。フェスタで啓発活動（自立支援協議会の啓発活動を行う）	
		名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	① よどがわ河川敷フェスタ		イベント	10月20日	地域イベント参加者（一般）	12	淀川河川敷にて行われるフェスタにて、ゲーム・着ぐるみを着用し、啓発活動を行った。
		②						
居宅介護事業所部会	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
		3	区内居宅介護事業所	5～6	事例検討、グループワーク		区内事業所にどう周知していくか	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		①						
就労支援部会	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
		月1回	移行支援、B型、A型、支援学校、ハローワーク	15名程度	人材育成、模擬面接会、事例検討など			
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 企業・定着セミナー		研修会	2月13日	障がい者雇用に携わっている企業・支援機関の方々	39名	障がい者雇用されている企業の方を招いて（企業説明、パネルディスカッション、質疑応答）
		② 合同事例検討会		事例検討	1月9日	就労支援部会、精神部会、相談部会合同の事例検討	20名	就労移行の利用者についての検討（他機関連携含む）

子ども支援部会	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
		月に一度開催（第2週金曜日）	淀川区内の放課後等デイサービス・児童発達支援事業者、東淀川支援学校、子どもサポートネット	25	情報共有、意見交換、研修の実施、地域交流		地域交流を活発にする、研修の拡充	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 西成高校のステップスクール見学の実施		イベント	5月	淀川区内の放課後等デイサービス・児童発達支援事業者、東淀川支援学校	30	大阪で始まったステップスクールについて、学校見学の実施
		② 感染症対策研修		研修会	9月	淀川区内の放課後等デイサービス・児童発達支援事業者、東淀川支援学校	50	部会加入施設の方より、ロールプレイで研修を実施
精神保健福祉部会	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
		11回 (月に1回・2月を除く)	訪問看護、計画相談支援、就労支援事業所	20～25名	事例検討（参加者からの事例提供） 制度等に関する研修（計画相談、精神保健福祉センター、就ボツ） その他、参加者からの情報提供			
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 精神保健福祉部会 勉強会		研修会	令和7年 2月27日	淀川区地域自立支援協議会 参加機関	40	「現場で知っておきたい精神疾患の特徴と支援について」 にじクリニック副院長 藤田愛子氏
		②						

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
合同面接会	イベント	12月19日			企業9社との調整による面接会（ハローワーク淀川主催）	

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和 6 年度 各区地域自立支援協議会活動報告

東淀川 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		東淀川区地域自立支援協議会 全体会議	開催回数・頻度	2 回（に 1 回）	参加者数（1 回あたり）	40
参画機関	障がい福祉関係	○	障がい当事者等	○	高齢福祉関係	○
	子育て・教育関係	○	就労関係	○	保健・医療関係	○
	地域団体・住民関係	○	その他			
検討課題・検討概要、取組内容		支援者自身の身を守る術を学び適切なセルフケアを行い、支援を提供できるような体制を整える。				
今後の課題や取組の方向性		定期的な研修を活発に行い、近年のトレンドに従って最新情報を区内事業所へ提供する。				

B 運営会議等

名称	東淀川区地域自立支援協議会 事務局会議	開催回数・頻度	11 回 (月 に 1 回)	参加者数 (1 回あたり)	20
参加者	正副会長、事務局長、各部会代表者、基幹センター、区身体障がい者協議会代表者、区手をつなぐ育成会代表者、区在宅医療・介護連携相談支援室、区社会福祉協議会、区役所				
機能・役割、取組内容	定期的に各部会の活動状況共有、全体会議の開催準備、区民まつりの参画に向けた準備（区地域自立支援協議会に関する周知）、障がい者スポーツフェスタ・みんなで和っしょいの運営方法や役割などの議論・決定、地域生活支援拠点の参画事業周知・受入れ、支援者のメンタルヘルスについて検討、防災・個別避難計画についての検討、他区地域自立支援協議会との連携、新たな協議会運営体制の強化（協議会開催前の三役会議の創設）				

C 部会

名称		開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
居宅介護事業所部会	定例会議	10	居宅介護事業所、基幹センター、区役所		9	管理者やヘルパーが、支援現場での課題を話し合い、共有することでサービス向上をめざす。事業所間の情報交換、勉強会・交流会の開催		多くの事業所へ部会への参加を促す	
	催事等	名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① LETS'6事業所説明会		相談会		R6.6.15	障がい者（児）及びその家族	50	就労支援事業所部会との合同開催での事業所説明会及び個別相談会。
名称		開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
相談支援部会	定例会議	12	相談支援事業所、基幹センター、区役所		26	障がいに関する相談員が、情報交換などを行い、サービスや福祉制度の向上のための検討を行なう。		毎回悩み相談の時間を設けることにより相談員がケースの悩みを一人で抱えず相談できる環境と風土作りを目指しましたが、気軽に相談できる体制づくりには至らなかった。相談員同士の横のつながりを作る。	
	催事等	名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 拡大研修「精神障がいのある方を地域で支えるために」		研修会		R6.8.22	部会員	40	「精神障がいのある方を地域で支えるために」 栄セツ子（桃山学院大学教授）

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
精神保健福祉部会		12	地域活動支援センター、医療機関、訪問看護ステーション、相談支援事業所、就労支援事業所、区役所		23	精神障がい者が、地域で生活するための社会資源の情報提供や精神障がいに関する啓発活動などを行う。部会内事例検討会。拡大事例発表会。拡大研修会。障がい福祉サービス事業所と医療機関、行政との連携・情報交換。		【課題】精神障がい者を取りまく状況や疾患、障がいの理解に向けて、地域への情報発信をどうしていくか。福祉サービスと精神科医療のより密な連携が必要。高齢障がい者が増加しており、高齢者の支援者に向けての情報発信も必要。依存症の対応が増えており適切な支援を行なうためには理解が不可欠である。研修などを通して今後も正しい情報発信を行う。【取組】実践的な理解や対応について、事例検討会や研修等を行い、情報発信、問題提起などを行う。保健・福祉と精神科医療の連携強化。集合とリモートのハイブリット開催。		
		名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 拡大事例発表会「医療と福祉の多職種連携について」		事例検討		R6.11.19	部会員		35	事例検討会
② 拡大研修会「依存症の方を支援する人へ・失敗から学ぶネットワークづくり」		研修会		R7.2.18	部会及び支援に携わる方		35	「支援者の支援」平野健二医師（新阿武山クリニック）		
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
こども部会		11	障がい児支援施設、保育園、支援学校、基幹センター、母子生活支援施設、区役所		28	障がい児にかかわる教育、福祉、医療関係者が研修などを通し、連携・支援体制の充実を図る。BCPについての勉強会。施設見学。保護者支援について。思春期の発達障がいの子どもへの支援について。大阪市の特別支援教育について。運営指導について。情報交換会。		こども部会の取り組みについて役割分担を含めて組織化していく。学校も含めて関係機関で連携、協力体制を築く。事例検討を通して障がいや発達障がいについての理解を深める。学校卒業後の進路について勉強会を持つ。食事や運動的な取り組みについて事業所間で情報交換をする。		
		名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 研修会「保護者支援について」		研修会		R6.7.12	部会員		24	風の子保育園 岩崎隆彦園長
② 研修会「大阪市の特別支援教育」		研修会		R6.11.8	部会員		23	「インクルーシブ教育推進室の機能と大阪市の今後の学校教育について」		
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
就労支援部会		10	就労支援事業所、基幹センター、淀川地域就業・生活支援センター、支援学校、区役所		22	就労支援事業所等と障がい者に対する職の場の開拓や情報共有を行い、地域におけるつながりづくりを行う。		部会長が次年度から新しくなるにつれて、SNSを活用した部会運営を行っていく。 6月福祉エキスポを継続開催。		
		名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
① LETS'6事業所説明会（福祉エキスポ）		相談会		R6.6.15	障がい者（児）及びその家族		50	居宅事業所部会との合同開催での事業所説明会及び個別相談会。		

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
みんなで和っしょい	イベント	R6.11.9	障がい当事者、地域住民、事業所	1,000	障がい者と地域の交流フェスタ	障がい者福祉が地域に根ざすことを主たる目的としてネットワーク並びに地域づくりに努める。

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄

令和 6 年度 各区地域自立支援協議会活動報告

東成 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		東成区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	3 回（に 1 回）	参加者数（1 回あたり）	20
参画機関	障がい福祉関係	東成区障がい者機関相談支援センター、身体障がい者・知的障がい者相談員、相談支援部会の代表、事業所部会の代表	障がい当事者等	東成区身体障害者福祉会、自立生活センター・おおさかひがし、精神障害者地域生活支援センター すいすい、大阪手をつなぐ育成会 中央支援センター	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係		就労関係	大阪市障がい者就業・生活支援センター	保健・医療関係	東成区役所保健福祉課
	地域団体・住民関係	東成区民生委員児童委員協議会、ひがしなりWELL-LINE、東成区社会福祉協議会	その他	東成区見守り相談室		
検討課題・検討概要、取組内容		・虐待防止に関する取組：内部講師での研修会を実施 ・教育との連携：区社協の福祉教育プログラムに協議会提案のプログラムを追加 ・障がい理解の取組：障がい者スポーツ展、日中系事業所展を実施				
今後の課題や取組の方向性		・虐待防止に関する取組：引き続き実施 ・教育との連携：区社協の福祉教育プログラムに提案したプログラムを、小学校の総合学習の時間を活用して実施予定 ・障がい理解の取組：引き続き実施 ・個人情報を開示しての個別ケース検討：事務局にて他区の状況を確認したうえで、実施基準を検討				

B 運営会議等

名称	ワーキング	開催回数・頻度	2 回（に 1 回）	参加者数（1 回あたり）	5
参加者	東成区地域自立支援協議会構成団体から選出				
機能・役割、取組内容	障がい者イベント等の事業内容を検討				

C 部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1 回あたり）	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
相談支援部会	定例会議	12	区内の相談支援事業所		・相談支援事業所及び障がい児通所サービス事業所一覧 ・新規ケースの選定		・サービス利用計画等の作成方法に関する勉強会を実施予定	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		①						
		②						

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
事業所部会		3	障がい福祉指定事業別連絡会の代表		11	・ 障がい児通所サービス事業所一覧 ・ 教育との連携				
	催事等	名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 虐待防止に関する研修会		研修会		1月15日	障がい福祉サービス事業所		20	手をつなぐ親の会 活動の歴史と障がい者虐待を学ぶ 講師：東成区障がい者機関相談支援センター 石橋孝治
		②								

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
障がいのいろいろ相談会	相談会	6/4、8/9、10/11、12/13、2/14	障がいについて困りごとをお持ちの方	3	東成区地域自立支援協議会構成団体による相談会	より多くの方にこの取り組みを理解してもらえるよう広報することを前提に継続実施
障がい理解のためのスポーツパネル展	イベント	12月3日～9日	一般区民	105	障がい者スポーツパネル展示、ポッチャ体験	実施後のアンケートにおいても良好であったことから継続実施
障がいのある方の活動をささえる事業所展	イベント	1月17日～21日	一般区民	229	日中活動系事業所の紹介パネルや作品展示	来場された方からは評判が良かったが、準備や作品の管理などで煩雑になることもあることから、開催の手法を再検討
障がいのある方の活動をささえる事業所展	イベント	2月1日	一般区民	89	日中活動系事業所の紹介パネルや作品展示（「東成区こころの健康講座」と同時開催）	区役所内他事業とのコラボレーションについては、相互理解を深めるうえで有効であるため、依頼に基づき検討

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和 6 年度 各区地域自立支援協議会活動報告

生野 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		生野区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	4 回（2、3か月に1回）	参加者数（1回あたり）	20名程度
参画機関	障がい福祉関係	生野区障がい者基幹相談支援センター、障がい者グループホーム連絡会、障がい者相談支援事業者、身体障がい者相談員、知的障がい者相談員、障がい者福祉サービス事業者、訪問系連絡会	障がい当事者等	障がい者（当事者）団体	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係	障がい児（者）教育機関、子ども相談センター	就労関係	就業・生活支援センター	保健・医療関係	
	地域団体・住民関係		その他	生野区社会福祉協議会、各部長		
検討課題・検討概要、取組内容		○生野区障がい者基幹相談支援センターの運営評価　○各部会の年間計画と活動報告　○市レベルで取り組むべき課題について　○防災について　○障がい者・障がい児事業所からの情報共有　○生野区高齢者・障がい者虐待防止連絡会 ○障がい者虐待について　○令和7年度年間計画について				
今後の課題や取組の方向性		○障がい者グループホームの現状把握による地域課題の抽出　○支援困難事例等に対する関係機関の連携による具体的な支援方針等に係る協議　○障がい児支援に係る現状把握による地域課題の抽出				

B 運営会議等

名称	生野区地域自立支援協議会役員会	開催回数・頻度	4 回（2、3か月に1回）	参加者数（1回あたり）	5名程度
参加者	生野区障がい者基幹相談支援センター、障がい者（当事者）団体、障がい者グループホーム連絡会、生野区社会福祉協議会、障がい者相談支援事業者				
機能・役割、取組内容	各協議会に諮る議題、議論の方向性の検討				

C 部会

名称		開催回数	主な参画機関		参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
相談支援部会	定例会議	12	計画相談事業所		30	月1回、講師を呼び、マネジメントの向上を図る 他事業所間で、困難ケースの意見の交換間や事例検討を行っている		経験豊富な支援者と経験が乏しい支援者が、講師に同じ内容を聞いているため、今後は経験年数で内容を変えることを検討している。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		①							
		②							

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
主任相談専門部会	定例会議	3回	区主任相談専門員	5	生野区における地域課題の調査 生野区にある障がい者グループホームに、専門員が見学に行き、アンケートの聴取を行う		グループホームの運営規定などの知識の向上のため、有識者による勉強会を開催予定。その後、グループホームの見学の継続により、地域課題の抽出を行う	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		①						
		②						
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
個別事例検討部会	定例会議	—	—	—	—		—	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 第1回生野区個別事例検討部会		事例検討	12月6日	対象者本人、SV、関係事業所、大阪府地域生活定着支援センター、大阪市研修センター、障がい者機関相談支援センター、生野区役所	11名	地域生活支援における必要な支援の考え方について (SV：大阪公立大学大学院現代システム科学研究科准教授 三田優子先生)
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
グループホーム部会	定例会議	3	自立支援センター・エポック/出発のなかまの会/生野みんなの家/グループホームはなうた/ラ・ビスタ	7	連絡会の運営について		講習会や勉強会の実施	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① まちなか被災シミュレーション		研修会	10月9日	連絡会登録団体	18名	街中での災害時の対応について
		② 認知症基礎研修		研修会	12月11日	連絡会登録団体	10名	知的障害者における認知症

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
ポッチャ体験会	イベント	8月23日	生野区地域自立支援協議会委員所属 団体利用者、支援者	33	ポッチャのゲームを楽しみながら各団体間、参加者間の交流を深める	自立支援協議会と区による実行委員会による運営、参加者募集範囲の拡大
生野区障がい者・高齢者虐待防止連絡会議	研修会	2月26日	生野区地域自立支援協議会、生野警察署、生野消防署、生野区社会福祉協議会、生野区地域包括支援センター運営協議会	20	・大阪市における障がい者虐待・高齢者虐待の現状について ・講話「高齢者・障がい者の権利を守ろう～虐待防止法を理解する～」	参加者の関心事の事前把握及び講話内容への反映

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和 6 年度 各区地域自立支援協議会活動報告

旭 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		旭区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	6 回（ 2 か月 に 1 回）	参加者数（1 回あたり）	委員 1 7，区事務局職員 3
参画機関	障がい福祉関係	社会福祉法人リベルタ、社会福祉法人 大阪市福祉事業財団、相談支援センターてのはな、特定非営利活動法人さかえ会、NPO 法人地域生活サポートネットほうぶ、あゆみ工房、両国ふれあいハウスケイフレンド、旭区障がい者基幹相談支援センター、相談支援あさひ、豊里学園、	障がい当事者等	大阪市身体障害者団体協議会旭区支部	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係	大阪府立 思斉支援学校、大阪府立 光陽支援学校	就労関係	北部地域障がい者就業・生活支援センター	保健・医療関係	旭区役所保健子育て課
	地域団体・住民関係		その他	旭区社会福祉協議会、旭区役所福祉課、生活支援課		
検討課題・検討概要、取組内容		第 2 期旭区地域福祉計画策定委員会障がい者福祉部会（2 回）、要支援者にかかる防災について（個別避難計画、福祉避難所、避難所における要配慮事項等、地域防災訓練）、障がい者スポーツ振興関係、総会開催（年 1 回 5 月）				
今後の課題や取組の方向性		区役所の福祉・防災関係部署と意見交換、各地域各種防災訓練に参加するなど障がい当事者や家族、事業所と地域との顔の見える関係づくり、事業所間の連携構築				

B 運営会議等

名称	旭区地域自立支援協議会本会事務局会議	開催回数・頻度	6 回（2 か月に 1 回）	参加者数（1 回あたり）	委員 6、区事務局職員 3、区防災安全課職員 1
参加者	議長、副議長 3、障がい者基幹相談支援センター 2、区役所福祉課職員 3、区防災安全課職員 1				
機能・役割、取組内容	本会議議事内容検討、本会議事進行の打合せ、第 2 期旭区地域福祉計画策定委員会障がい者福祉部会案の決定、要支援者にかかる防災について（個別避難計画、福祉避難所、避難所における要配慮事項等、地域防災訓練）				

C 部会

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
こども部会		3	障がい児サービス事業所、障がい当事者家族、NPO、基幹相談C、小児科医、区内小中学校、区内支援学校、民児協、保健子育て課職員	26	・ 学校、支援団体や事業所の情報を集め、共有 ・ 教育と福祉と医療の連携について、意見交換による課題の共有（課題解決に向けた方策の検討） ・ 障がい児福祉サービス等情報共有		多機関のため、開催日日程調整が困難	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 就学・進学なんでも相談会		相談会	6～7月（計11回）	障がいのある未就学児・小学生・中学生の保護者	40	各小学校に出向いての就学・進学、生活にかかる相談会
		② 子育て応援セミナー		研修会	8月17日	障がいのあるこどもの保護者	8	先輩当事者家族の講話、グループディスカッション

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
相談支援部会	定例会議	6	相談支援事業所、基幹相談支援C、区障がいサービス担当、	23	・相談支援事業所の連携強化、相談支援体制の強化と質の向上 ・事例検討などを通して、地域課題の抽出		相談支援員間での連携強化	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		①	制度学習会(定例会議内)	研修会	8/21 12/18 2/18	相談支援部会委員	23	「R6報酬改定内容 要医療児者支援体制加算」「希死念慮のある方への対応」 「計画相談の進め方」
		②	事例検討	事例検討	会議の度	相談支援部会委員	23	・ 8 0 5 0 問題ケース、障がい者虐待疑い案件
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
高齢・障がい部会	定例会議	6	障がい者基幹相談支援センター/地域包括支援センター/障がいサービス事業所/介護保険ケアマネジャー/区保健師/区高齢担当/区介護保険担当	18	・ケアマネジャーに対し介護保険制度移行に向けたガイドライン、障がい福祉サービスについての情報提供 ・ケアマネジャーと相談支援専門員とともに 8 0 5 0 問題事例検討会を開催		地域における障がい者福祉と高齢者福祉関係機関の相互連携を図り、その連携を強化し、障がい者の高齢化にともなう課題解決を図る	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		①	旭けあねっと・高齢障がい部会合同研修会	研修会	5月23日	ケアマネジャー・相談支援専門員		8 0 5 0 問題ケースにかかるグループワーク
		②	精神科訪問看護の実態について	研修会	9月17日	高齢障がい部会委員	18	精神に特化した訪問看護事業所看護師（委員）
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
日中支援部会	定例会議	6	障がい者サービス事業所（就A・B、生活介護）基幹相談支援センター、北部地域障がい者就業・生活支援センター	17	交流イベント「和んで座談会」企画・運営、事業所間連携、学習会、授産製品販売会		災害時における地域との連携、事業所間連携を見据えた、障がいのある人の地域参加支援等、平時からのつながりを深める取組	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		①	和んで座談会	イベント	12月13日	障がい当事者、地域住民、障がい事業所ほか	169	舞台発表、区内ボランティアサークルによる演奏会、授産製品展示、ミニ4 駆走行体験、手作りワークショップ、障がいのある人が行うマジックショー、福祉施設物販
		②	感染症対策研修	研修会	3月10日	区内障がいサービス事業所職員	13	講師：区役所保健子育て課職員 講義と吐しゃ物処理・手洗い体験

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
事業所連絡会（児）	その他	年 3 ・ 4 回	障がい児事業所、こども部会長、基幹相談支援センター	約20名	区内障がい児通所サービス事業所間の連携および情報交換、障がい児福祉イベントの開催 (令和6年8月5日 パラスポーツ体験交流会 111名参加)	

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動報告

城東 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		全体会議	開催回数・頻度	4 回（3か月に1 回）	参加者数（1 回あたり）	60名程度
参画機関	障がい福祉関係	各障害福祉事業所	障がい当事者等	身体障害者福祉会・精神障害者家族会	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係	区子育て教育課・支援校進路担当	就労関係	ハローワーク・就ボツ	保健・医療関係	区障害福祉・保健師・訪問看護
	地域団体・住民関係	区社会福祉協議会	その他			
検討課題・検討概要、取組内容		区役所より報告・各部会活動報告・新規参加事業所紹介・毎回テーマを設定、その課題に対するスピーカーを招いて報告				
今後の課題や取組の方向性		この間、ネットワークを目的とした事業所連絡会の傾向が中心になっていることから、障害当事者・家族の声の反映できる協議づくりへ				

B 運営会議等

名称	協議会部会長会議	開催回数・頻度	12 回（月に1回）	参加者数（1回あたり）	18名
参加者	委員長・各部会長・事務局・庶務				
機能・役割、取組内容	情勢や制度変更やおきている現況と課題を議論し、全体会、各部会に反映する				

C 部会

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
相談支援	定例会議	毎月開催	基幹相談・相談支援事業所	20	選定会議後、研修・交流を中心に活動		相談支援として質の向上（困難事例への対応も）	
		名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	① 初任相談支援専門員研修		研修会	随時	初任相談支援専門員ほか	10	相談支援の手続き、流れ
		②						
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
地域活動部会	定例会議	役員会毎月・会議3か月1回	基幹相談・支援事業所・区防災	15	福祉避難所のとりくみ・ポッチャ大会・中学生福祉体験		福祉避難所の拡大と体系化	
		名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	① ポッチャ大会		イベント	5月20日	事業所利用者・地域福祉委員・区職員ほか	100	ポッチャ
		②						
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
児童部会	定例会議	毎月（8月休会）」	基幹相談・事業所・保護者組織	20	こどもをめぐる情報交換・テーマを決めたグループディスカッション		療育水準の向上とネットワークづくり	
		名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	① コグトレ研修		研修会	10月25日	事業所職員・保護者・子育て関係機関職員	60	コグニティブトレーニングとは
		② 映画「絆王子と無限の一步」		イベント	2月25日	区民・事業所職員・保護者・子育て関係機関職員	30	不登校のテーマ内容
		② ゲーム大会		イベント	3月28日	事業所利用者	100	ゲームを楽しむと同時に交流

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性				
就労部会		毎月	就労事業者・就ボツ		15	事業所見学会開催、パンフづくり、情報交換		共同のとりくみ検討、就労選択支援の対応			
		催事等	名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
			① 支援校進路担当懇談		その他		不定期	就労事業所		20	支援校後の進路傾向
			②								
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性				
地域生活部会		毎月	グループホーム・シェアハウスほか		10	地域生活にかかる課題検討		依存、累犯障がい者に関わる生活支援			
		催事等	名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
			① 民生委員、高齢施設との防災連携		研修会		2月6日	協議会事業者・民生委員・高齢施設・区防災・区社協		100	防災へのとりくみ説明と交流
			②								
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性				
居宅介護部会		不定期 年数回	居宅介護事業者		5	ホームヘルプの空き状況を各所に周知するには		ヘルパー確保と部会の活性化			
		催事等	名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
			①								
			②								
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性				
グループホーム交流会		3か月に1回	グループホーム		10	グループホーム運営について		情勢交流・意見交換など関係強化			
		催事等	名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
			①								
			②								

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
医療的ケア児のための防災プロジェクト	その他	2か月に1回	大阪信愛大学・訪問看護・放デイ 区社協・通所事業者・当事者家族ほか	15	医療的ケア児の福祉避難所を考え、日常的なネットワークづくりをすすめる	より多くの当事者・家族も含めた関係者のネットワークづくりを課題に

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和 6 年度 各区地域自立支援協議会活動報告

鶴見 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		鶴見区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	3 回（ 4 か月 に 1 回）	参加者数（1 回あたり）	15名程度
参画機関	障がい福祉関係	鶴見区保健福祉センター(保健福祉課) 鶴見区障がい者基幹相談支援センター	障がい当事者等		高齢福祉関係	
	子育て・教育関係		就労関係	・ 大阪市北部地域障がい者就業・生活支援センター	保健・医療関係	
	地域団体・住民関係		その他	障がい児者支援施設 つるみの郷/児童デイサービス けいき little/相談支援事業所 星あかり/ケア2 1 鶴見/鶴見区身体障害者福祉協会/鶴見区社会福祉協議会/精神障がい者地域生活支援センター すいすい/相談支援くりいむ/児童デイサービス けいき Junior		
検討課題・検討概要、取組内容		【個別避難計画について】 市民協働課より見守り登録されている要援護者の避難計画について説明 【令和6年度活動計画】 各部会の開催頻度や主な活動内容について検討 【機関相談支援センターの令和5年度の事業報告】 機関相談支援センター作成の自己評価シートに沿って報告及び質疑応答 【各部会からの取組報告】 各部会により取り組んだ活動について報告				
今後の課題や取組の方向性		今後の各部会での取組内容について、各委員が集まり検討する場を開催予定				

B 運営会議等

名称		開催回数・頻度	回（ に 1 回）	参加者数（1 回あたり）	
参加者					
機能・役割、取組内容					

C 部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1 回あたり）	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
相談支援部会	定例会議	12	・ 基幹相談支援センター ・ 区内障がい者（児）事業所	2 5 名程度	【障がい福祉サービスについて】改正等の内容について説明 【基幹相談センター情報提供等】研修会等の案内やピラ配布依頼 【選定会議】障がい者（児）計画相談支援事業者選定		各部会での取り組みだけでなく、各部会と連携し勉強会や研修会の開催を検討	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		①						
		②						

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
事業所部会	定例会議	10	・基幹相談支援センター ・区内障がい者（児）事業所 ・日本ライトハウス	6名程度	事業所部会主催による研修会の開催に向けての検討		各部会での取り組みだけでなく、各部会と連携し勉強会や研修会の開催を検討	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 社会資源の情報をもっと！共有しよう		その他	9月11日	区内障がい者（児）事業者	30	障がい福祉サービス事業所と相談支援事業所の情報共有
		② 支援者として心理的距離の取り方を考える ～よりよい資源につなげるために～		研修会	2月20日	区内障がい者（児）事業者	40	日々の支援でどうしても近くなってしまう利用者との心理的距離について、講師を招いての講義及びグループワークを開催
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
児童部会	定例会議	9	・基幹相談支援センター ・区内障がい児事業者	5名程度	児童部会主催による研修会の開催に向けての検討		各部会での取り組みだけでなく、各部会と連携し勉強会や研修会の開催を検討	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 新人さん集まれ！！		その他	5月29日	区内障がい児事業者の新人職員	20	区内児童福祉に関わるスタッフによる交流会
		② こどもの卒業後の進路と社会資源		研修会	11月19日	区内障がい児事業所及び障がい児の保護者	90	講師を招いての講演会

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
居住支援をめぐる実践と課題	研修会	11月30日	区内障がい者（児）事業者	80	講師を招いての講演及び鶴見区社会福祉協議会等による情報提供	
障がい者スポーツ体験会	イベント	10月6日	鶴見区民	227	区民まつりでの障がい者スポーツの紹介・体験会	

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動報告

阿倍野 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		阿倍野区地域自立支援協議会（本会）	開催回数・頻度	2 回（に 1 回）	参加者数（1 回あたり）	20～27名
参画機関	障がい福祉関係	阿倍野区障がい者基幹相談支援センター、地域活動支援センターアクセス、あべのキッズプラナ、くらしの相談所、ピースプラント阿倍野、ミライエ天王寺駅前、LITALICOワークス大阪天王寺、四天王寺さんめい苑、ILISPLAN阿倍野、相談支援事業所あいあい、アテナ平和、ウェルビー天王寺駅前センター、リカバリハウスいちご	障がい当事者等	阿倍野区身体障がい者団体協議会	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係	住之江支援学校	就労関係	中部 就業・生活支援センター	保健・医療関係	
	地域団体・住民関係	阿倍野区作業所連絡会	その他	区社協見守り相談室、育徳園、南さくら園		
検討課題・検討概要、取組内容		・運営会議、各部会間の情報の共有を図るためのしくみづくり、情報発信のしくみづくり ・各部会での取組（事例検討等）における地域課題の抽出、解決への意見・提案を考える ・南部地域の自立支援協議会、支援学校との連携に向けての取り組みをすすめる				
今後の課題や取組の方向性		運営会議、各部会間の情報共有にあたっては、事務局がメールで周知するのみの現状で、ホームページなども検討したが維持や経費の面で実用に至らなかった。ディスコードというアプリを試験的に導入をすすめているが、事務局がセキュリティ上参画ができない、事業所ごとの判断もあり、今後本格的に運用できるかを模索する。 事例検討や個別支援会議を引き続き行い、地域課題の抽出、解決につなげる。また研修やイベントをとおして支援者のスキルアップ、障がいへの理解啓発につなげる。 生徒の進路の参考とする目的で合同説明会の開催や、出前講座を行ったことは好評を得、今後も引き続き実施し住之江支援学校との連携を深めていく。				

B 運営会議等

名称	運営会議	開催回数・頻度	10回（に1回）	参加者数（1回あたり）	15～20名
参加者	阿倍野区障がい者基幹相談支援センター、地域活動支援センターアクセス、四天王寺さんめい苑相談支援事業所、あべのキッズプラナ、くらしの相談所、ピースプラント阿倍野、ミライエ天王寺駅前、LITALICOワークス大阪天王寺、四天王寺さんめい苑、ILISPLAN阿倍野、相談支援事業所あいあい、アテナ平和、ウェルビー天王寺駅前センター、区社協見守り相談室、阿倍野区作業所連絡会				
機能・役割、取組内容	・事例検討後の課題を共有するシステム作り ・部会、ワーキンググループ間の情報集約と共有、本会の運営				

C 部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
相談支援部会	定例会議	6回	区基幹相談支援センター、区内相談支援事業所、障がい児相談支援事業所	20～30	・相談支援の啓発活動・関係機関との連携強化（相談支援専門員の役割の明確化、相談支援にかかる周知方法の検討） ・地域課題の抽出 ・相談支援員のスキルアップ		相談支援の啓発活動・関係機関との連携強化（相談支援専門員の役割の明確化、相談支援にかかる周知方法の検討）、地域課題の抽出、相談支援員のスキルアップ等を引き続き行う。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 勉強会		研修会	奇数月	相談支援事業所、日中活動系事業所、障がい児通所事業所	15～20名	「相談支援におけるスキルとは？」「報酬改定について」「意見交換会（関わりの中で成功したこと）」「医療ケアの必要な方への相談支援について」「意思決定支援」「支援で困っていること」
		② 障がい者なんでも相談会		相談会	毎月(4月、1月を除く)1日	区民	各1～3名	相談支援事業所の担当制による個別相談
		③ ハローワーク実演体験会		相談会	5月、8月、9月、11月、12月、3月	区民	各1～3名	ハローワークで開催される実演体験会における相談支援事業所の担当制による個別相談

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
日中系部会	定例会議	6回	地域活動支援センター、区内日中活動系事業所(障がい者のみ)、デイケア	22～31	・日中どこいこ？見つけるフェスタの開催 ・他部会との交流を図るイベント開催 ・事業所間見学会 ・住之江支援学校合同事業所説明会の開催		日中どこいこ？見つけるフェスタの開催、他部会との交流を図るイベント開催、・事業所間見学会、住之江支援学校合同事業所説明会の開催を引き続き行う。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 住之江支援学校合同説明会		イベント	7月6日	住之江支援学校の生徒	48名（校区全体）	住之江特別支援学校及び校区(3区)が合同で日中系事業所説明会を実施し生徒の進路に役立ててもらう
		② 出前講座		イベント	2月20日	住之江支援学校の生徒	48名（校区全体）	卒業後の進路について、作業やレクリエーションを体験することで、具体的なイメージを持ってもらう
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
AKS（あべのんキッズサポーターズ）部会（障がい児部会）	定例会議	6	区基幹相談支援センター、区内障がい児通所事業所、区内障がい児相談支援事業所	31～39	・事業所間の情報共有 ・スキルアップのための研修の開催や事例検討会の開催 ・教育機関との連携強化、地域イベントへの参加		事業所間の情報共有、スキルアップのための研修の開催や事例検討会の開催、・教育機関との連携強化、地域イベントへの参加を引き続き行う。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 事例検討会		研修会	6月12日	障がい児相談支援事業所、障がい児通所事業所	26名	成功事例の紹介、グループワーク
		② 事業所見学会		その他	11月18日～22日	障がい児相談支援事業所、障がい児通所事業所	各2～5名	6事業所の見学会の実施
		③ 防災研修		研修会	2月12日	相談支援事業所、日中活動系事業所、障がい児通所事業所	47名	阿倍野消防署員による防災研修

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
日中どこいこ？見つけるフェスタ	イベント	6月8日	区民、日中活動系事業所、障がい児通所事業所、相談支援事業所	26事業所 来場者58名	事業所による個別ブースでの説明会	引き続き実施。周知方法の再検討が必要。
防災ワーキンググループ	その他	7月31日、8月22日、10月24日、12月24日、2月25日	阿倍野区地域自立支援協議会、居宅介護支援事業者連絡会、訪問看護ステーション連絡会、社会福祉施設連絡会、阿倍野区医師会	10～17名	防災にかかる各団体の取組、地域の取組、区防災担当の取組の情報共有、5団体協働で今後の取組み内容の検討	引き続き検討を深める。研修の実施等を見据える。
第1回事業所連絡会	研修会	7月19日	区内障がい福祉サービス事業所	62名	「地域自立支援協議会についてみんなで話し合おう～みんなで広げよう！事業所の輪♪～」	引き続き、事業所の顔の見える関係づくり、支援者のスキルアップにつながる内容をテーマに実施する。
第2回事業所連絡会	研修会	2月17日	区内障がい福祉サービス事業所	21名	「結核とHIV感染症、エイズを正しく知り対策を学ぶ」	引き続き、事業所の顔の見える関係づくり、支援者のスキルアップにつながる内容をテーマに実施する。
主催研修	研修会	12月17日	区民、区内障がい福祉サービス事業所	68名	「親なきあとの備え～障がい年金等のお金について」	引き続き障がいの理解啓発つながる内容をテーマに実施する。
障がい者週間による啓発	その他	11月29日～12月13日	区民	-	障がいへの理解を深める内容を区役所ギャラリーに展示	引き続き実施。周知方法、アンケート方法の検討が必要。
障がい高齢訪看合同研修	研修会	10月11日	区職員、高齢、訪看ST、区内障がい福祉サービス事業所	122名	気づきのアンテナの感度を高める研修会 第2弾 「あなたの気づきが支援につながる！～孤立、孤独、生活困窮等への支援 地域・民間・行政が一体となって～」	引き続き、つながる場と高齢、訪看STと共催で実施する。

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和 6 年度 各区地域自立支援協議会活動報告

住之江 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		住之江区地域自立支援協議会 全体会	開催回数・頻度	1 回（1年 に1回）	参加者数（1回あたり）	27名
参画機関	障がい福祉関係	区障がい者基幹相談支援センター、自立生活夢宙センター、こころの相談ネットふうが、ライフケアシヴァ、けあ工房夢いろ、アイクル相談支援センター、S＆A相談支援センター、タイガースケアプランセンター、ほほえみ、デーセンターいるか	障がい当事者等	身体障がい者相談員	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係	み・らいず2、ひかり	就労関係	ぴあどリーむ、南西部地域障がい者就業・生活支援センター	保健・医療関係	南大阪病院
	地域団体・住民関係	新北島地域あったかネットコーディネーター、太陽地域あったかネットコーディネーター	その他	区社会福祉協議会、区保健福祉課		
検討課題・検討概要、取組内容		・今年度部会活動報告について ・来年度の体制及び取組について ・その他				
今後の課題や取組の方向性		全体会は構成員から地域の活動で課題だと感じていることや部会の感想など直接声を聞くことができる機会となっている。住之江区は水害の可能性も高く、今後地域住民とのつながりも深め誰も取り残さないまちにしていきたい。				

B 運営会議等

名称	運営幹事会	開催回数・頻度	6 回 (2 か月に1回)	参加者数 (1回あたり)	12名
参加者	区障がい者基幹相談支援センター、自立生活夢宙センター、ライフケアシヴァ、ぴあどリーむ、区社会福祉協議会、み・らいず、南西部地域障がい者就業・生活支援センター、加賀屋・粉浜地域包括支援センター、タイガースケアプランセンター、S&A相談支援センター、区保健福祉課				
機能・役割、取組内容	・各部会、連絡会開催の報告と状況の確認 ・自立支援協議会全体の取組みについて協議				

C 部会

名称		開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
精神保健福祉ネットワーク 部会	定例会議	12回	自立生活夢宙センター、ふうが、ライフケアンヴァ、住之江区居宅介護支援事業所連絡会、加賀屋・粉浜地域包括支援センター、南西部障がい者就業・生活支援センター、ほっとナビ訪問看護ステーション、訪問看護ステーションデューン南大阪、区社会福祉協議会、区保健福祉課		12名	事例検討・情報提供		精神科医療機関は増えつつあるが、加療が必要と思われる方の中には医療拒否があり、必要な医療につがっていない方もある。 引きこもりの長期化、高齢化から引きおこる8050問題が顕在化するときは、すでに世帯課題は複雑化、深刻化している事が多く、課題解決のためには多職種連携は必須である。 今後、高齢者支援に携わる専門職とのネットワーク構築の仕組みも必要ではないか。	
		名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	① 勉強会		研修会		6月28日	精神障害に関わる支援者	16	「統合失調症の理解と支援」 講師：ほっとナビ訪問看護ステーション 今西愛莉氏、訪問看護ステーションデューン南大阪 小田亜希子氏
		② 勉強会		研修会		8月23日	精神障害に関わる支援者	14	「支援を受けて当事者からの感想」講師：精神障がいの当事者3名
		③ 勉強会		研修会		10月25日	精神障害に関わる支援者	13	「ギャンブル症を知る」 講師：医療法人藤井クリニック 小野史絵氏
		④ 勉強会		研修会		2月21日	精神障害に関わる支援者	16	「障がい者虐待の定義と理解」 講師：住之江区保健福祉課 儀間佐和子氏、住之江区障がい者基幹相談支援センター 百瀬滋氏
名称		開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
就労支援部会	定例会議	0	びあどリーむ			日中活動ガイドブックの更新		日中活動ガイドブックの更新や、支援学校合同説明会を開催し、支援学校保護者や当事者、支援者に日中活動についての周知を行っていく。	
		名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	① 支援学校事業所合同説明会		イベント		7月6日	住之江支援学校の保護者	住之江区 17事業所	事業所の説明会
		② 支援学校事業所合同説明会		イベント		7月8日	東住吉支援学校の保護者	住之江区 3事業所	事業所の説明会

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
相談支援部会		12回	区障がい者基幹相談支援センター、自立生活夢宙センター、タイガース、COL、ライフケアシヴァ、パレット、S&A、なるの実、アイクル、加賀屋地域・太陽地域あったかネットコーディネーター、ほっとナビ、ゆうり、区社会福祉協議会、区保健福祉課		22名	事例検討・情報提供		各々の支援の必要性のある高齢者と障がい者が同居している世帯が見られる。8050問題も散見される。 毎月第2金曜日に「障がい者・高齢者・こどものなんでも相談会」、「相談支援部会」、「相談支援事業者連絡会」を開催予定。		
		名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① なんでも相談会		相談会		毎月	だれでも			障がい者・高齢者・こどもについて等、なんでも相談
		②								
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
子ども部会		6回	み・らいず、じらふ、子育てプラザ		18	事例検討・情報提供		・事例検討の積み重ね ・地域で福祉、教育、保健医療が協力できるための取り組み ・「大阪市子どもの見守り強化事業」の活用方法の検討		
		名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① R6年度区内子ども支援・教育機関の事業紹介・交流会		その他		5月29日	支援者		40	参加機関の紹介、名刺交換会
		②								
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
当事者部会		6回	メリーゴーランド、自立生活夢宙センター、区社会福祉協議会、住吉川地域あったかネット、グルメ軒屋社会貢献の家、大阪医療福祉専門学校		22名	地域のコミュニティづくりの継続、自然災害等の緊急事態への備え、等		引き続き学生や先生方とのつながりを大切にし、当事者一人ひとりが主体的に取り組みながら、部会の活動をさらに活性化させていく。		
		名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① モルック		イベント		11月18日	学生、障がい当事者		39	障がい当事者と一緒にモルックを楽しむ
		②								
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
いきがい部会		0	住之江公園、区社会福祉協議会、区障がい事業所連絡会			住之江公園の自然啓発活動等、町づくり活動				
		名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① すみのえハート♡スタジアム		イベント		5月25日			4000人	町おこしイベント
		②								

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 （１回あたり）	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
相談支援事業者連絡会		12回			24名	事業所紹介・研修会の規格等		相談支援専門員のスキルアップのため、相談員同士の情報交換、勉強会の開催などを行う。	
	催事等	名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		①	勉強会	研修会		5月31日	相談支援事業者	20	「障がいサービス決定事項の変更」 講師：障害者の自立と完全参加をめざす大阪連絡会議 細井氏
		②	勉強会	研修会		6月14日	相談支援事業者	38	「障がいと高齢 お互いを知ろう」 講師：加賀屋・粉浜地域包括支援センター 長谷部氏、 住之江区障がい者基幹相談支援センター 百瀬氏
		③	勉強会	研修会		12月5日	相談支援事業者	19	「カスタマーハラスメント対策」 講師：大阪弁護士会 平田佳之弁護士

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別		開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和 6 年度 各区地域自立支援協議会活動報告

住吉 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		住吉区地域自立支援協議会総会	開催回数・頻度	1 回（ 年 に 1 回）	参加者数（1 回あたり）	17名
参画機関	障がい福祉関係	住吉区障がい者基幹相談支援センター・こころの相談ネットふうが・社会福祉法人あさか会・社会福祉法人よさみ野福祉会・社会福祉法人ライフサポート協会・社会福祉法人あいえる協会	障がい当事者等	住吉区身体障害者団体協議会	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係		就労関係	南西部就業・生活支援センター	保健・医療関係	
	地域団体・住民関係	社会福祉協議会	その他	住吉区役所		
検討課題・検討概要、取組内容		障害者のなんでも相談報告、各部会活動の報告、パンフレット等についての報告、その他各活動についての報告、基幹相談支援センターの評価				
今後の課題や取組の方向性		各部会において障がい者児にかかる地域課題を取り出し、運営会議にあげて検討していくことを引き続き進めていく予定。				

B 運営会議等

名称	事務局会議	開催回数・頻度	12 回（ 1ヵ月 に 1 回）	参加者数（1 回あたり）	14名
参加者	住吉障がい者基幹相談支援センター、こころの相談ネットふうが、社会福祉法人あさか会、社会福祉法人よさみ野福祉会、社会福祉法人ライフサポート協会、社会福祉法人あいえる協会、住吉区社会福祉協議会、南西部就業・生活支援センター				
機能・役割、取組内容	協議会全体の動きについて毎月確認していく場としています。障がい者なんでも相談の報告、各部会活動報告、研修会の検討、制度等の情報提供、情報交換、その他事項の共有。				

C 部会

名称		開催回数	主な参画機関		参加者数（1 回あたり）	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
相談支援部会	定例会議	10	障がい者基幹相談支援センター・指定相談支援事業所、地域見守り相談室		約20名	新規等事業所の情報共有、情報提供、年間活動の確認、各事業所の受け入れ状況確認と意見交換、グループワーク、事例検証		機能強化型を取得している事業所及び主任相談支援専門員の役割整理、住吉区の基盤づくりに向けた協力体制を目指していきます。	
	催事等	名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 高次脳機能障害研修会		研修会		11月15日 3月26日	基幹相談支援、指定相談支援事業所、見守り相談室	各20名程度	高次脳機能障害の基礎研修（基礎編、応用編） 講師：就労継続支援B型事業所Workwork 辻 寛之氏
		② 高齢障がい合同研修会		研修会		1月30日	基幹相談支援センター、指定相談支援事業所、居宅介護支援事業所、地域見守り相談室、医療介護連携、区役所各課	40	8050事例を通して各グループに分かれて支援について議論。

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
日中活動支援部会	定例会議	5	日中活動系事業所、基幹相談支援センター	約15名	報酬改定による影響、事例検討、事業所紹介、支援、取組み等について、防災（福祉避難所等）		今後の報酬改定や、日中の事業所をとりまく情勢や課題について見ていきながら、相談支援との連携やグループワーク、就労選択支援についてや防災についてなどの内容で、つながる場、気づき学べる場として開催していきます。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 第2回 つながる祭り		イベント	10月5日	地域、当事者、家族、各日中活動事業所	約100名程度	住吉区で活動している、働いている当事者、事業所のことを知ってもらう。イベントを通していろんなつながりの輪を広げていく。
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
精神保健ネットワーク部会	定例会議	3	相談機関・訪問看護・障がい福祉サービス事業・基幹センター・医療機関など	15	勉強会、事例検討会、全体研修		参画団体や事業所を増やし、取組内容も充実させていきたい。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 「さかいのふくしカードゲーム」グループワークおよび講義		研修会	9月5日	医療・福祉関係者	15	堺市社会福祉協議会 谷口様 「さかいのふくしカードゲーム」
		② 看取りとケアと支援者ケア ～そこに愛はあるのか？～		研修会	2月14日	医療・福祉関係者	30	医）ハートフリーやすらぎ 大橋奈美さん
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
グループホーム部会	定例会議	6	グループホーム事業所、相談支援事業所	10	・グループホームの地域連携推進会議の実施に向けた情報交換 ・地域生活移行支援および虐待防止に関する学習会 ・人材確保に関する各事業所の工夫等について情報共有		2025年度から、地域連携推進会議が義務化されることに伴い、各事業所間の連携を強化し、会議実施に向けた協力体制を構築していくことなどを確認していく。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		①						
		②						
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
子ども部会	定例会議	11回	障がい児通所支援事業、相談支援事業所、生活介護、訪問看護、不登校支援事業所、ヘルパー事業所	30	事業運営について、支援について、保護者支援についてなど毎月意見交換。また不定期でイベント開催、毎月研修（どなたでも参加可）		・ネットワークの仕組みづくり（現在メールでのやり取りをライン公式の活用など） ・住吉区の子ども（家族）の課題抽出の仕方は課題	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① すみすみ研修		研修会	毎月	どなたでも参加可（児童、成人施設支援者、保護者、企業など参加されてます）	50	ABA,感覚統合、モンテッソーリ教育など知的、発達障がいの方に関わる方に必要なスキル研修多数。
		② 住吉区子ども食堂連絡会加盟の方々にアンケート実施		その他	11月・2月	住吉区子ども食堂連絡会		食堂に参加していれお子さんについて、気になっている事、現状などアンケート実施

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
事業所連絡会研修会	研修会	6/9,9/9,11,17,1/19	区民、各福祉事業所、各機関	30	昨今の障がい者雇用課題について、複合的な課題を持つ世帯の地域支援について、支援者が知っておくべき相続や遺言についての基礎知識、人権の視点から精神障がいのある人の生活支援を考える	今後は意思決定支援や地域連携等、各事業所のスキルアップ含め、地域連携が強まる研修会を検討していきたい。
障がい者なんでも相談	相談会	毎月第4水曜	障がいのある方、その家族、支援者等	各回3名程度	区役所の1画を借りて毎月相談会を開催。	新規サービス申請のサポートや、将来の生活、就労に向けての相談不安等があり、一層地域の各機関へつながっていく必要があります、
東住吉支援学校事業所説明会	イベント	7月19日	東住吉支援支援学校保護者	20	東住吉支援支援学校にて日中活動事業所の説明会と相談会を近隣区と協働で実施。	住吉区の参加は少なく、今後は参加が増えていけるようにさらに周知啓発を行う。

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動報告

東住吉 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		地域自立支援協議会本会議	開催回数・頻度	3 回（ 4か月 に 1 回）	参加者数（1 回あたり）	20名
参画機関	障がい福祉関係	障がい者基幹相談支援センター /地域活動支援センター/障がい福祉事業所/障がい関連施設	障がい当事者等	大阪手をつなぐ育成会東住吉区支部/東住吉区身体障がい者団体協議会	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係	府立東住吉支援学校	就労関係	南部地域障がい者就業・生活支援センター	保健・医療関係	東住吉区保健福祉課/保護課
	地域団体・住民関係		その他	区社会福祉協議会		
検討課題・検討概要、取組内容		<第1回>R6.7.11：委員の変更/R5事業報告/R6事業計画/R7予算（案）/基幹相談支援センター運営評価/地域福祉推進会議結果報告 他 <第2回>R6.11.14：各部会活動報告/区民フェスティバル参加報告/全体会（講演会） 他 <第3回>R7.2.13：各部会活動報告/全体会報告/地域福祉推進会議で提出予定の課題について協議/地域自立支援協議会（法定会議）個別事例の検討状況 他 <取組内容> 地域課題の検討/各部会活動報告/全体会「おしえて！改正障害者差別解消法～誰もが共に生きる社会の実現のために～」/「障がいのある方たちの事業所マップ」/「障害児支援施設事業所情報集」/東住吉区民フェスティバル				
今後の課題や取組の方向性		引き続き、区内関係機関と連携しながらネットワークの構築を進めるとともに、地域の社会資源の活用及び改善を検討していく				

B 運営会議等

名称	事務局会議	開催回数・頻度	12回（1月に1回）	参加者数（1回あたり）	9～11名
参加者	障がい者基幹相談支援センター/地域活動支援センターもくれん/ていんがーら/今林の里/南部地域障がい者就業・生活支援センター/東住吉区社会福祉協議会/東住吉区保健福祉課				
機能・役割、取組内容	<機能・取組内容>協議会活動の進捗管理/地域課題の精査/地域生活支援拠点等登録申請にかかる説明会の開催・同意通知 <取組の方向性>個別事例について、地域課題としてどのように整理していくか検討する				

C 部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
相談支援部会	定例会議	毎月第1、第2、第4月曜日（計32回）	相談支援事業所	30名程度	相談支援専門員のスキルアップに向けた関係制度の勉強会、学習会、グループスーパービジョンの実施/スプレッドシート、ラインを活用した情報共有/行政からの情報共有/現任研修インターバル		<課題>相談支援事業所の不足/関係各所との連携不足/障がい別、状況別の専門的な対応が必要/業務が多岐に渡っている/社会資源の不足	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 相談支援部会学習会		研修会	4月8日	相談支援事業所	48名	テーマ：「報酬改定」 講師：基幹相談支援センター 平沼 遊
		② 相談支援部会学習会		研修会	5月7日	相談支援事業所	34名	テーマ：「新年度報酬改定による区での取り扱い」 講師：基幹相談支援センター 平沼 遊
		③ 相談支援部会学習会		研修会	6月3日	相談支援事業所	37名	テーマ：「福祉のあらまし」 講師：基幹相談支援センター 平沼 遊
		④ 相談支援部会学習会		研修会	7月1日	相談支援事業所	26名	テーマ：「年金制度」 講師：基幹相談支援センター 平沼 遊
		⑤ 相談支援部会学習会		研修会	8月5日	相談支援事業所	31名	テーマ：「現任研修インターバル対応」 講師：基幹相談支援センター 平沼 遊
		⑥ 相談支援部会学習会		研修会	9月2日	相談支援事業所	26名	テーマ：「障がい者の医療制度」 講師：基幹相談支援センター 平沼 遊
		⑦ 相談支援部会学習会		研修会	10月7日	相談支援事業所	25名	テーマ：「サービス担当者会議①」 講師：基幹相談支援センター 平沼 遊

		⑧	相談支援部会学習会	研修会	10月28日	相談支援事業所	18名	テーマ：「障害児相談支援について」 講師：一般社団法人こもれび 水流添 綾
		⑨	相談支援部会学習会	研修会	11月11日	相談支援事業所	21名	テーマ：「サービス担当者会議②」 講師：基幹相談支援センター 平沼 遊
		⑩	相談支援部会学習会	研修会	12月2日	相談支援事業所	20名	テーマ：「障がい福祉の制度」 講師：基幹相談支援センター 平沼 遊
		⑪	相談支援部会学習会	研修会	1月6日	相談支援事業所	23名	テーマ：「生活保護」 講師：基幹相談支援センター 平沼 遊
		⑫	相談支援部会学習会	研修会	2月3日	相談支援事業所	25名	テーマ：「障害児相談支援」 講師：基幹相談支援センター 平沼 遊
		⑬	相談支援部会学習会	研修会	3月3日	相談支援事業所	30名	テーマ：「現任研修インターバル」 講師：基幹相談支援センター 平沼 遊
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
	定例会議	7回	障がい児通所事業所	8～12名程度	事業所見学会、学習会の実施/事業所情報集の作成		<課題> 学校の参加の拡大/地域での連携不足/医療ケアの必要な子どものための施設(特に短期入所)が足りない/在宅している(不登校の)障がい児への支援が乏しい/児童の相談支援事業所が足りない/学校での障がい児に対する人員が足りない/支援が届いていない障がい児がいる	
子ども部会	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容(テーマ、講師、活動内容など)
		①	第1回 子ども部会	研修会	5月22日	障がい児通所事業所/保育所/幼稚園/小中学校/支援学校他	34	テーマ：「2024年度障害福祉サービス等報酬改定について」 講師：基幹相談支援センター 平沼 遊
		②	「東住吉区障害児支援施設事業所情報集2024年度版」作成	その他	6月	保護者/関係者	約450部 76事業所	障害児相談支援事業所10/児童発達支援センター2/児童発達支援5/児童発達支援・放課後等デイサービス41/放課後等デイサービス10/重症心身型児童発達支援、放課後等デイサービス8
		③	第2回 子ども部会	研修会	10月22日	障がい児通所事業所/保育所/幼稚園/小中学校/支援学校他	38	テーマ：「重度知的障害がある小学生」 発表者：(放課後デイ/行動援護/相談支援事業所) 職員
		④	障害児通所事業所見学会	研修会	11月14日	障がい児通所事業所/保育所/幼稚園/小中学校/支援学校他	44	児童発達支援・放課後等デイサービス 3事業所を見学
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
	定例会議	6回	日中活動系事業所	10名程度	事業所説明会、見学会、研修会の実施		<課題> 運営委員の輪番制/新規参入雄の検討/支援員のスキルアップ	
日中活動系連絡会	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容(テーマ、講師、活動内容など)
		①	府立東住吉支援学校通所事業所説明会	その他	7月19日	日中活動系事業所/在校生/保護者/学校関係者	76事業所	日中活動系事業所説明会 <6区76事業所(東住吉区28事業所)>
		②	講演会	研修会	8月2日	日中活動系事業所	15	テーマ：「令和6年 能登半島地震 グループホームでの応援職員活動報告」 講師：NPO法人 だんでらいおん 辻 正晃 GW：「モチベーショングラフを使った自己分析」
		③	「東住吉区民フェスティバル」ブース出展	イベント	10月20日	日中活動系事業所/区民フェスティバル来場者	23事業所	日中活動事業所写真展
		④	日中活動系事業所見学会	研修会	2月7日	日中活動系事業所	37	生活介護・就B 3事業所を見学後、グループワークを実施

名称		開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
居住系事業所連絡会	定例会議	1回	グループホーム、ショートステイ事業所		4名程度	見学会、研修会の実施		<課題> ・障がい者に情報が届いていない/地域連携が足りない/社会資源を増やしていく仕組みづくりが必要	
	催事等	名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		第1回 居住系事業所連絡会		研修会		7月19日	グループホーム、ショートステイ事業所	30	テーマ：「報酬改定について」 講師：大阪障害フォーラム事務局 細井 清和
名称		開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
当事者部会	定例会議	1回	区内事業所		4名程度	研修会の実施		<課題> 研修テーマによって参加対象拡大を検討	
	催事等	名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		第1回 障がい当事者部会		研修会		1月9日	日中活動に通う障がい当事者/障がい福祉事業所	50	テーマ：「障がい者と防災～自身の被災体験を通して～」 講師：ゆめ風基金事務局 阿部 俊介

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
事例検討会	研修会	①7/30 ②11/12 ③3/27	障がい福祉事業所	①57名 ②55名 ③50名	・複数の相談支援事業所でケースを選定 ・事業所間交流の時間を設定 ・相談支援事業所（機能強化型）による運営とファシリテーション実施	【取組の方向性】 参加者の拡充に向け、他部会の学習会日程を勘案して開催していく
その他	イベント	10月20日	「2024東住吉区民フェスティバル」 ブース出展	①3件 ②23事業所 ③606名	①障がい者・児福祉相談支援コーナー ②日中活動事業所施設写真展 ③アルコールパッチテスト	【取組の方向性】 地域自立支援協議会ならではのブース出展となるような工夫を凝らす
全体会	研修会	12月13日	各部会委員/障がい福祉事業所/障がい当事者/家族/区民	54名	講演会：「おしえて！改正障害者差別解消法～誰もが共に生きる社会の実現のために」 講師：大阪弁護士会 辻川 圭乃 弁護士	【取組の方向性】 引き続き、参加者の障がいへの理解を深めていく講演テーマを選定する
地域自立支援協議会 （法定会議）	その他	6/26 6/27 11/22	障がい福祉事業所/その他関係機関等	3回 計22機関	・支援困難事例（個別事例）等の検討	【取組の方向性】 介入が必要と考えるケースでも本人の支援拒否などによって支援に結びつけられない困難さを抱えており、引き続き、「地域自立支援協議会」の活用によって関係機関の連携を図り、適切な支援につなげていく
その他	その他	1月下旬	「令和6年度版 障がいのある方たちの事業所マップ」作成	作製数1200部 事業所数295	・利用者、相談者の案内に活用 ・区HPに掲載	【取組の方向性】 掲載を希望する事業所が年々増加しており、見やすさを工夫していく

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和6年度 各区地域自立支援協議会活動報告

平野 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		運営委員会	開催回数・頻度	6 回（2ヶ月に1回）	参加者数（1回あたり）	20名程度
参画機関	障がい福祉関係	区内の障がい福祉事業所 平野区障がい者基幹相談支援センター 地域活動支援センターもくれん	障がい当事者等	区内の障がい当事者	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係		就労関係	南部地域障がい者就業・生活支援センター	保健・医療関係	
	地域団体・住民関係		その他	平野区社会福祉協議会		
検討課題・検討概要、取組内容		困難事例の相談・協議、地域の社会資源の開発のための提言と活用及び改善の検討、地域の関係期間の連携の推進、ネットワークの構築、専門部会の活動への支援、相談支援及び障がい福祉サービス提供体制の充実に必要とされる事項の検討等				
今後の課題や取組の方向性		困難事例に対するケア会議の開催を実施。全体会の開催				

B 運営会議等

名称	運営委員会（上記と同会議）	開催回数・頻度	6 回（2ヶ月に1回）	参加者数（1回あたり）	20名程度
参加者	区内の障がい福祉事業所、平野区障がい者基幹相談支援センター、地域活動支援センターもくれん、障がい当事者、平野区社会福祉協議会、南部地域障がい職業生活支援センター				
機能・役割、取組内容	各部会からの活動報告、各部会の懸案事項の協議、障がい者週間における障がい理解促進のPR活動、各種会議の参加報告、各部会の役員承認など				

C 部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
相談事業部会	定例会議	12回	平野区障がい者基幹相談支援センター/区内相談支援事業所他	25名程度	各事業所間との情報共有、活動報告、区行政機関等との連携体制 個別事例検討など		各相談支援事業、近隣区の協議会と連携強化を図り、部会の充実を図る	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		①						
		②						
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
日中部会 研修部会	定例会議	1回	区内の日中活動系事業所他	15名程度	東住吉支援学校の事業所説明会、事業所に関するアンケート調査等 身近な制度の申請における研修など		定例会議の開催増、各事業所間の連携強化	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		①						
		②						

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
居宅事業部会	定例会議	4回	区内の居宅事業サービス事業所他	40名程度	事業者間交流会（意見交換）、諸課題の共有・解決に向けた取組みなど		事業所と地域の関係機関との協力体制の構築	
	催事等	名称		種別		対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 共同生活援助とは「グループホームの視点から」		その他	4月19日	区内の居宅事業サービス事業所の管理者等	40名程度	講師：グループホームあい 藤山氏
		② 重度障がい者の地域生活について		その他	1月23日	区内の居宅事業サービス事業所の管理者等	40名程度	講師：自立支援センタースクラム 酒井氏
名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
当事者部会	定例会議	12回	区内の障がい当事者	10名程度	障がい当事者の意見交換、障がい理解を深めるための認知活動		障がい当事者の声を広く発信するとともに障がい理解を深めていただく取組みを強化する。	
	催事等	名称		種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 障がい者週間「障がい理解アート展示」		イベント	12月3日～ 12月9日	区民	－	障がい週間に区役所1階にブースを設け、手帳やヘルプマークなどのアート作品による啓発活動
		②						

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
区政会議	その他	年4回	区政会議委員	-	委員である協議会会長の出席により、適宜、地域での障がい者との関わりや課題についての意見交換	継続実施
東住吉特別支援学校通所事業所説明会	イベント	7月	各事業所	20名程度	各事業所の特性などを学校や保護者への説明を実施	継続実施

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和 6 年度 各区地域自立支援協議会活動報告

西成 区地域自立支援協議会

A 協議会本会議

名称		西成区障がい者自立生活支援調整協議会	開催回数・頻度	年 1 回 (7 月に 1 回)	参加者数 (1 回あたり)	2 8 名程度
参画機関	障がい福祉関係	福祉局、区基幹相談支援センター、障がい者施設、地活センター（生活支援型）、就労系事業所、生活介護事業所 等	障がい当事者等		高齢福祉関係	
	子育て・教育関係	中央子供相談センター、教育委員会、小学校、保育所	就労関係	職業安定所	保健・医療関係	こころの健康センター、区医師会、病院
	地域団体・住民関係	身体障害者団体協議会、人権協会	その他			
検討課題・検討概要、 取組内容		・ 区障がい者自立生活支援調整協議会委員長の選任・職務代理者の指名 ・ 令和5年度活動報告（活動状況報告、課題・制度的問題まとめ）、区相談支援センターの運営評価 ・ 令和6年度活動計画 ・ 地域福祉推進会議推進チームへの障がい者自立生活支援調整協議会からの代表出席について ・ 西成区障がい者自立支援調整協議会開催要綱の一部を改正する要綱				
今後の課題や取組の 方向性						

B 運営会議等

名称	運営委員会	開催回数・頻度	毎月	参加者数 (1 回あたり)	約 1 5 名
参加者	各部会の代表者				
機能・役割、取組内容	専門部会開催状況の共有を行い、全体会（報告・研修）の運営について協議をし、また次年度以降の西成区障がい者自立生活支援調整協議会全体の運営方針について検討を行った。				

C 部会

名称		開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性	
専門部会全体会	定例会議	年2回程度	下記、専門部会参画機関		約30名	各専門部会からの報告会、全体研修会。			
	催事等	名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		①							
		②							

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
相談支援部会		毎月	区基幹相談支援センター、区内相談支援事業所、地活センター（生活支援型）等		約30名	相談員としてのスキルアップや知識獲得を目的としたミニ学習会および学習会の実施 グループワークを活用した情報共有や横のつながりづくり等連携の強化 障がい福祉サービス指定特定相談支援事業者の選定		グループワークは時間の節約やスムーズな進行を意図し、役割を分担し、積極的に取り組んでいきたい。 選定会議の仕方について、挙手制と併せてマッチングについて検討を要する。また、事業所決定後アセスメントの際に、障害福祉サービス申請時のニーズと異なる場合もあるため、柔軟に対応できるよう相談員の技量向上に務める。 ひとり相談支援事業所も多いため、相談支援専門員が悩みを抱え込んで孤立したり、疲弊してバーンアウトすることのないよう支え合う仕組み作りや、大阪市のSVバンク（SV相談）も活用していきたい。		
		名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		①								
		②								

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
日中活動系事業所部会		年6回	地活センター、障がい者施設、生活介護事業所、就労継続支援事業所、共同生活援助事業所、区基幹相談支援センター等		約20名	施設見学を通じ、より良い質のサービスや利用者の場を確保 見える関係性（多職種連携） 制度面以外での連携		生活介護事業所がなかなか増えない、部会への参加を新規・未参加事業所に声をかけるが参加してくれるところ が少ない、今後も引き続き参加の声をかけていく 実地指導対策勉強会・複数部会合同研修会・職員の交換研修（人材交流） 現参加事業所も引き続き参加しやすいよう曜日等の変更も視野に入れていく		
		名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		①								
		②								

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
就労系事業所部会		毎月	就業・生活支援センター、職業安定所、地活センター、就労継続支援事業所、区基幹相談支援センター等		約25名	部会に参加している事業所同士で情報共有などの交流を図る 事業所説明会などイベント開催を通して部会活動に活気を出す 研修を実施し、学びの場を提供する		部会に登録・参加している事業所の現状を把握し、共有することでより良い関係性を築き、就労系事業所部会参加の意義のあるものとする。 当事者、家族、地域の方々に福祉サービスについて知ってもらうための啓発イベントとして開催できるように、営業・営利目的にならない体制を整え、改めて計画を立てて開催する。		
		名称		種別		開催日	対象者		参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		①								
		②								

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
こども部会		年6回	区内障がい児相談支援事業所、保育所、小学校、中学校、高校、人権協会、教育委員会、区基幹相談支援センター 等		約15名	相談支援、放デイなどの福祉事業所と小学校、中学校との情報交換について 進学、進級状況についての情報交換 不登校支援について		参加事業所が少ないので参加事業所を増やしているいろいろな意見をもらう必要がある。 他の事業所や学校の取り組みを知る機会を増やす。		
		催事等	名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
			①							
		②								
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
地域活動部会		年6回	区社協、地活センター（生活支援型）、区基幹相談支援センター、障がい福祉事業所、当事者団体 等		約10名	あったかハートをつないで（周知啓発） 西成ポッチャカップ（事業所交流） 障がい当事者の防災について		コロナ禍以前の活動やあったかハートをつないでの目的や流れを知る部会員が減少したこともあり、十分に成果をあげることができなかった。障がい福祉サービスに紐づかない部会として、当事者の参加や意見の反映ができればという意見がでた。 より当事者、事業所や地域へむけて情報発信をする仕組みは必要。		
		催事等	名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
			第4回西成ポッチャカップ		イベント		R7.2.3	区内在住の障がい者	約60名	事業所対抗のポッチャ大会。区身協主催のスポーツ大会から有志の事業所主催のポッチャ大会へと遷移したもの。令和5年度より地域活動部会主導で開催している。
名称	定例会議	開催回数	主な参画機関		参加者数 (1回あたり)	主な議題、取組内容		今後の課題や取組の方向性		
精神保健福祉連携部会		毎月	地活センター（生活支援型）、区基幹相談支援センター、区精神保健福祉相談員、区内地域包括センター、オレンジチーム、つながる場担当者、地域体制整備CSW、訪問看護ステーション連絡会 等		約20名	地域課題の抽出を意識した事例検討の実施 研修会（講演会）の企画、開催 部会参加各機関の紹介		「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」の構築のため、医療等、さらに多分野の関係機関の参加の検討 障がいと高齢の連携の強化		
		催事等	名称		種別		開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
			①							
		②								

D その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
あったかハートフェスティバル	イベント	11月17日	市民	約700名	地域で暮らす障がい者への理解を促すための啓発と交流を目的とした区事業への参画 ※令和4年度から区民まつりに統合	

E 備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。